

2025年大阪・関西万博 TDM活動記録

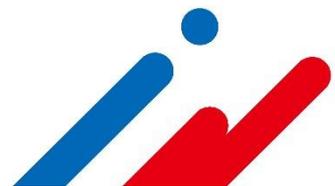
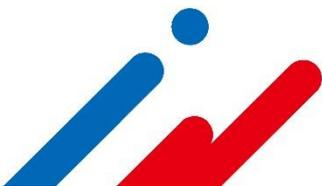
(本文・参考資料集)



大阪・関西万博TDMパートナー

2026年2月

大阪府・大阪市万博推進局 整備調整部
(2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議 事務局)



目次

第1章 はじめに.....	1
1. はじめに.....	1
第2章 全体概要.....	2
1. 大阪・関西万博の開催概要.....	2
2. 来場者輸送の概要.....	3
3. 万博 TDM の概要.....	6
第3章 万博 TDM 検討の軌跡.....	7
1. 推進体制の設置.....	7
(1) 2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議の設置概要.....	7
(2) 構成メンバー.....	7
(3) 交通円滑化推進会議の開催状況.....	9
2. 万博 TDM の働きかけ.....	10
(1) 働きかけの期間.....	10
(2) 働きかけの区間・時間帯.....	12
(3) 働きかけの内容.....	15
(4) 働きかけのエリア.....	17
3. 企業等への働きかけ.....	18
(1) 万博 TDM パートナー登録制度の設立.....	18
(2) 万博 TDM パートナー登録企業募集チラシの作成.....	19
(3) 万博 TDM リーフレットの作成.....	19
(4) 万博 TDM パートナー登録に関する情報発信.....	22
4. 大阪府・市各部局への働きかけ.....	23
(1) 説明会及びアンケート調査の実施.....	23
(2) 各部局へのヒアリングの実施.....	23
(3) 大阪府・市の取組.....	24
5. 万博開幕までの進め方.....	25
第4章 万博 TDM トライアル.....	26
1. 取組の経緯・概要.....	26
(1) 万博 TDM トライアルの経緯.....	26
(2) トライアルの概要(目的、期間、対象等).....	26
(3) 交通円滑化推進会議構成団体の取組.....	28
2. トライアルに伴う広報.....	30
(1) 広報物の作成.....	30
(2) 広報物の掲出場所(Osaka Metro 等).....	30
(3) WEB 広告.....	33
(4) 万博 TDM トライアル専用ホームページの立ち上げ.....	34
3. トライアルの検証結果.....	35
(1) 鉄道の混雑状況.....	35
(2) 「企業」及び「主に駅利用者」の取組状況(アンケート結果).....	39
(3) 大阪府・市、博覧会協会による取組結果.....	43

(4) トライアル検証結果を踏まえた対策	45
4. その他の関連取組	47
(1) Osaka Metro による万博 TDM 推進キャンペーン	47
第5章 万博 TDM トライアル結果を踏まえた開幕に向けた取組	48
1. 万博 TDM パートナー登録促進に向けた取組	48
(1) 各種インセンティブ	48
(2) 企業等への働きかけ	51
2. Osaka Metro 中央線沿線主要集客施設等への働きかけ	54
(1) イベント施設	54
(2) 教育機関	54
3. 開幕 100 日前(令和7年1月)から開幕までにおける広報	55
(1) 広報物のデザインの趣旨	56
(2) 広報物の掲出場所(Osaka Metro 等)	57
(3) WEB 広告	58
(4) YouTube 動画	59
(5) 万博 TDM 専用ホームページ	60
(6) 広報誌掲載	61
4. 万博 TDM パートナー等への働きかけ	62
5. 大阪府・市各部局への働きかけ	64
(1) 各部局へ万博 TDM の取組について依頼文の発出	64
(2) 共用サテライトオフィスの確保及び執務環境整備	64
(3) 職員健康診断時期の調整(大阪府・市)	65
第6章 万博会期中の万博 TDM の取組	66
1. 万博会期中における広報	66
2. 6月(混雑期)における広報	66
(1) 方針	66
(2) 広報物のデザインの趣旨	67
(3) 広報物の掲出場所(鉄道・道路等)	68
(4) WEB 広告	72
3. 会期終盤(最混雑期)における広報	74
(1) 方針	74
(2) 広報物のデザインの趣旨	74
(3) 広報物の掲出場所(鉄道・道路等)	77
(4) WEB 広告	79
(5) テレビ CM の放映	80
(6) 万博 TDM 専用ホームページの更新	81
(7) その他の広報	82
4. 万博 TDM パートナー等への情報発信	85
(1) 交通混雑予測情報の算出	85
(2) 混雑予測情報の配信例(9月24日配信)	86
5. 大阪府・市部局との調整	87
(1) 万博会期中の勤務制度の取扱い(大阪市)	87
(2) 万博会期中の交通混雑緩和の取組拡大	87
6. 万博 TDM 取組期間の効果検証	88
(1) 鉄道(Osaka Metro 中央線)における効果検証	88

(2) 道路(阪神高速道路)における効果検証	91
(3) 道路(会場周辺道路)における効果検証	93
7. 万博 TDM パートナーや個人(主に駅利用者)の取組状況	96
(1) アンケート結果について	96
(2) 万博 TDM アンケート結果のまとめ	100
(3) 万博 TDM パートナーの取組事例	100
8. 大阪府・市等の取組	101
(1) 大阪府・市職員の万博 TDM 取組結果	101
(2) 博覧会協会職員の万博 TDM 取組結果	102
(3) 国機関の職員の万博 TDM 取組について	102
9. 万博 TDM 取組結果のまとめ	103
10. その他の関連取組	104
(1) Osaka Metro 万博 TDM 推進キャンペーン	104
(2) 万博 TDM タッチ決済キャンペーン	104
11. 万博 TDM パートナー登録促進に向けた取組結果	106
(1) 広報の取組	106
(2) 各種インセンティブの取組	106
(3) 万博 TDM パートナー登録数の推移	109
(4) 万博 TDM パートナーへの御礼	110
第7章 おわりに	111
1. 大阪府・大阪市特別参与及び有識者(交通円滑化推進会議 幹事会に参画)からのメッセージ	111
2. 謝辞	113
参考資料	114
1. 万博 TDM パートナー登録企業募集用チラシ	115
2. 万博 TDM リーフレット	117
3. 万博 TDM の広報用ポスター等	149
(1) トライアル時におけるポスター及びチラシ	149
(2) 開幕100日前におけるポスター及びチラシ	150
(3) TDMパートナー登録のインセンティブに関するポスター及びチラシ	151
(4) 6月期におけるポスター及びチラシ	152
(5) 8月期におけるポスター	153
(6) 会期終盤期	154
4. 万博 TDM パートナーの取組事例	160
(1) 万博開幕前の先導的取組事例	160
(2) トライアル時における取組事例	162
(3) 6月期における取組事例	164
(4) 会期終盤期における取組事例	167
5. 年表	170

第1章 はじめに

1. はじめに

2025年日本国際博覧会(以下、「大阪・関西万博」という。)は、2025(令和7)年4月13日(日)から10月13日(月)までの184日間、大阪市臨海部の人工島「夢洲(ゆめしま)」において開催された。

四方を海で囲まれているという地理上の制約から、橋・トンネル等、万博会場への交通アクセス手段が限られるため、万博来場者を安全・円滑に輸送するためには、アクセスが特定の交通手段や経路に集中しないバランスの取れた輸送計画を立案することが必要であった。

また、同時に、大阪・関西圏の社会経済活動を支える人流・物流への影響を最小化し、経済活動と両立させることが必要であり、そのためには、一般交通の抑制、分散、平準化を図る交通需要マネジメント(TDM[※])の取組が不可欠であった。

TDMの実施にあたっては、企業や府民・市民等の協力が必要であることから、大阪府・市、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、経済団体等が一体となった「2025年大阪・関西万博交通円滑化推進会議」を設立し、広範な働きかけを展開した。

その結果、万博来場者輸送によって、鉄道等における通勤・通学等への支障、阪神高速道路における人流・物流への支障等、市民生活及び経済活動への大きな影響も特に見られなかった。

本活動記録は、大阪・関西万博会期中の円滑な来場者輸送と経済活動の両立のために実施した万博TDMの取組をとりまとめたものである。

※TDMとは、「Transportation Demand Management」の略で、「交通需要マネジメント」を指す。

鉄道や道路利用者による交通発生源の調整や時間・経路の変更等、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化等、「交通需要の調整」を行うことにより、交通混雑を緩和していく取組。

第2章 全体概要

1. 大阪・関西万博の開催概要

大阪・関西万博の開催概要は以下のとおりである。

表 2.1 大阪・関西万博の開催概要

名称	2025年日本国際博覧会(略称:大阪・関西万博)
開催期間	2025(令和7)年4月13日(日)~10月13日(月)(184日間)
開催場所	大阪府大阪市此花区 夢洲(ゆめしま)
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン Designing Future Society for Our Lives
コンセプト	-People's Living Lab - 未来社会の実験場
総来場者数	29,017,924人



出典:2025年日本国際博覧会協会

図 2.1 会場パース

2. 来場者輸送の概要

大阪・関西万博は、アクセスルートが限られた人工島での開催となったため、万博来場者を安全・円滑に輸送するためには、アクセスが特定の交通手段や経路に集中しないバランスの取れた輸送計画を立案することが必要であり、その計画を着実に実行するために十分な準備が必要であった。

2020(令和2)年12月に「2025年日本国際博覧会基本計画」(以下、「基本計画」という。)が策定され、想定来場者数を2,820万人と定められた。その後、2021(令和3)年7月に、大阪・関西万博来場者の安全かつ円滑な輸送を行うための具体的な対策をとりまとめることを目的として、関係する行政機関及び団体が協議・調整を行う来場者輸送対策協議会を立ち上げ、「鉄道・バス」「道路」「輸送円滑化」「水上輸送」に関する専門部会を設置し、来場者輸送に係る協議、検討の体制を整えた。

2022(令和4)年6月には、基本計画を受け、「大阪・関西万博 来場者輸送基本方針」(以下「基本方針」という。)を策定し、来場者の円滑な輸送を実現するための基本的な方針を定めた。基本方針では、交通インフラを最大限活用し、全ての人々が安全・快適に移動できるような取組を進めるとともに、各アクセスルートのバランスの取れた利用を図るものとされた。

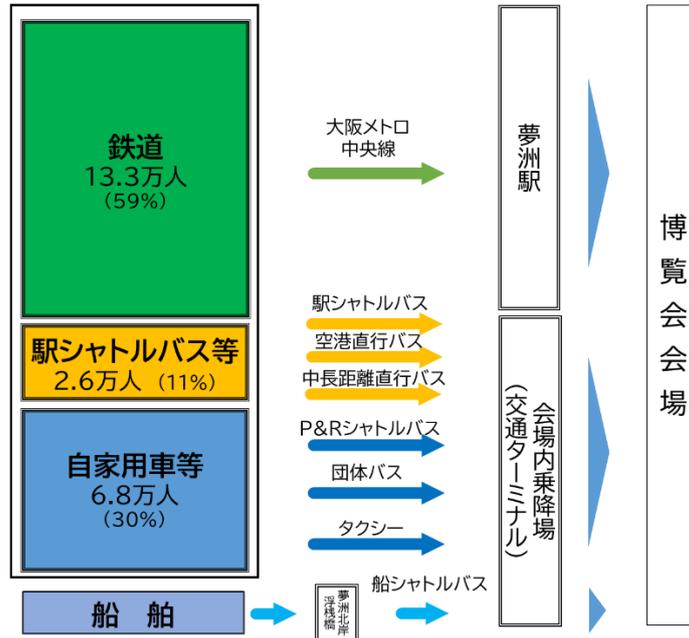
2022年10月、基本方針から更なる検討、関係機関等との協議を進め、万博来場者の安全・円滑な移動を実現し、大阪・関西圏の社会経済活動を支える人流・物流への影響を最小化する目的のもと、「大阪・関西万博 来場者輸送具体方針」の初版を策定した。その後、検討の進捗とともに計4回の改定を行い、2024(令和6)年12月に来場者輸送具体方針(アクションプラン)の第5版(最終版)を策定した。また、来場者輸送具体方針中において、働きかけTDMの実施についても位置づけられた。

表 2.2 大阪・関西万博来場者輸送具体方針 検討項目

来場者の方向別内訳
想定する機関分担率
主な来場者想定ルート
交通ターミナル・万博P&R※駐車場等の運用
持続可能性に配慮した取組
交通分野における新技術の取組
輸送需要平準化対策
輸送供給拡大対策
輸送円滑化対策
来場者に向けた交通サービスの連携及び情報提供
雑踏等に備えた警備誘導
万博開催期間における体制
来場者輸送対策を実施しても発生が想定される万博交通による影響
働きかけTDM実施と期待する効果

※P&R(パークアンドライド)とは、出発地からは自動車を利用し、途中で電車やバス等により乗り換えて目的地まで移動する方式のこと。大阪・関西万博では、バスによる輸送を実施。

<日來場者22.7万人の場合>



出典:大阪・関西万博 来場者輸送具体方針第5版(一部加工)

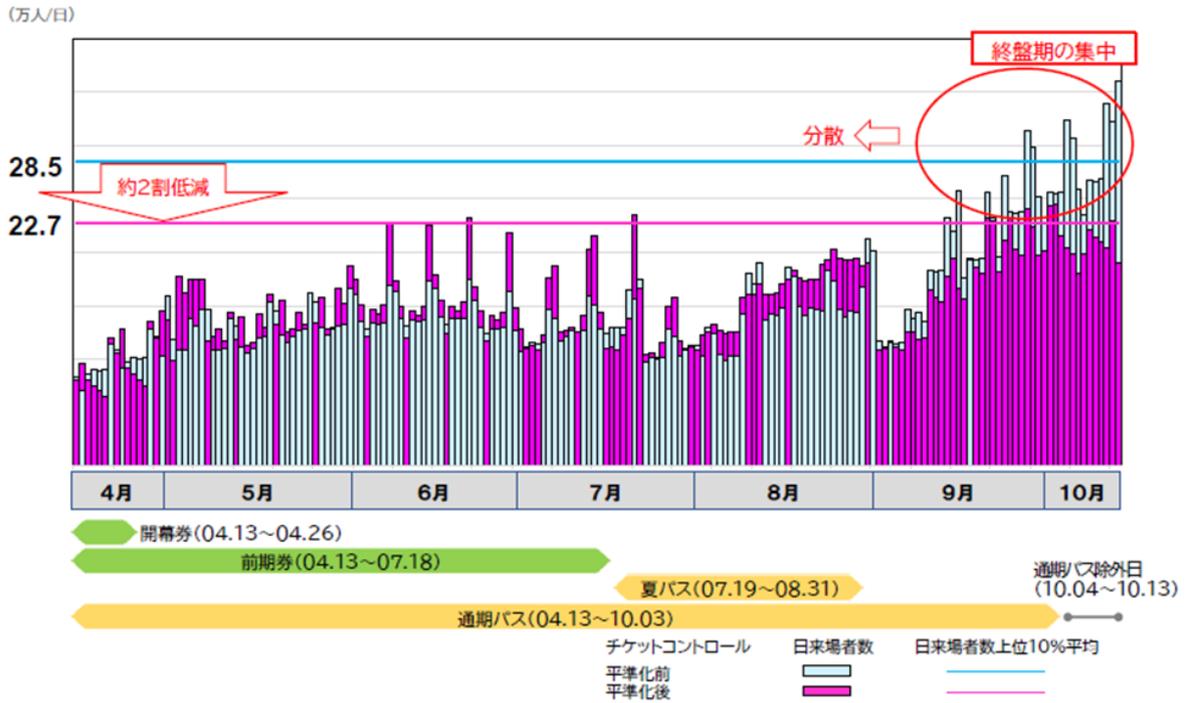
図 2.2 交通手段別来場者内訳



出典:大阪・関西万博 来場者輸送具体方針第5版

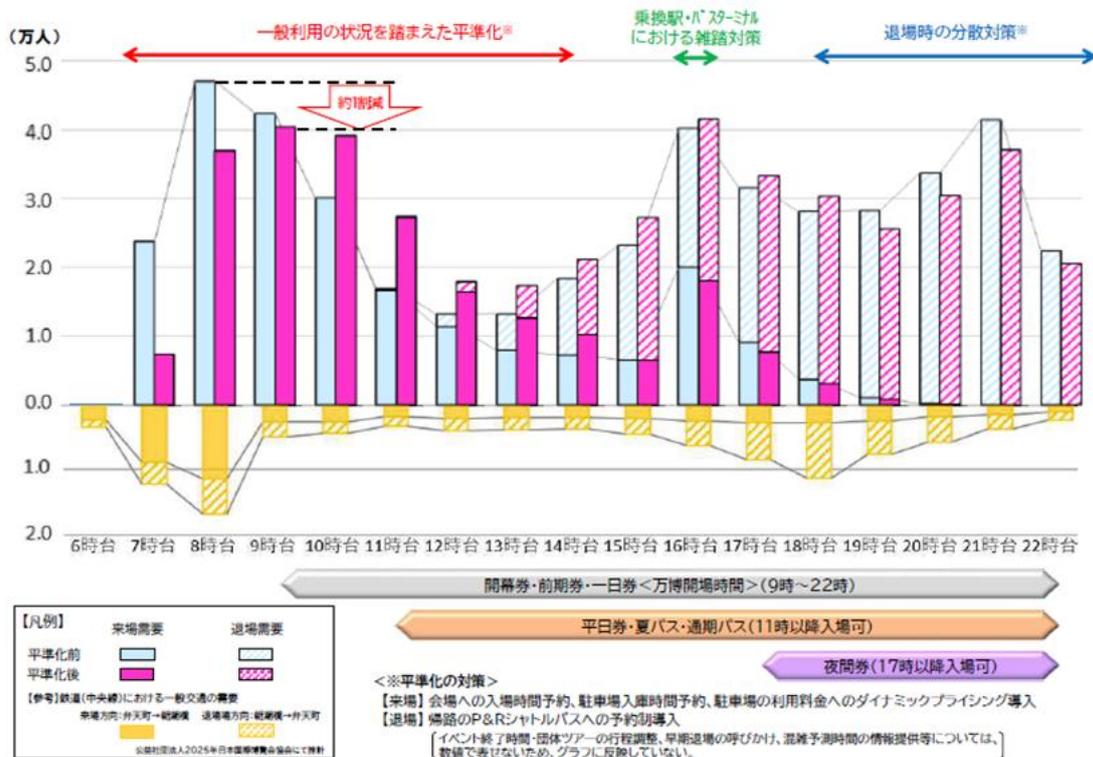
図 2.3 主な来場者想定ルート

第2章 全体概要



出典：大阪・関西万博 来場者輸送具体方針第5版

図 2.4 チケットコントロールによる需要平準化



出典：大阪・関西万博 来場者輸送具体方針第5版

図 2.5 入場予約制度による需要平準化

3. 万博 TDM の概要

2005年愛知万博においては、会期前半では来場者が少ないものの、会期終盤にかけて急激に来場者が増加する傾向が見られた。この実績を踏まえると、大阪・関西万博においても会期終盤にかけて駆け込み需要による来場者の増加が見込まれ、来場者輸送具体方針においては第3章2節の図3.1に示すとおり、日来場者数が、概ね20万人を超えたあたりから、輸送における鉄道の割合が加速度的に増加するため、それに備えた対策が必要となった。

そこで、まずは、比較的来場者が少ないと想定される前期や夏季にできるだけ来場してもらう取組として、早期来場の呼びかけ、開幕券・前期券等の割引券や夏期のみ利用可能な夏パスの販売等、チケットコントロールによる平準化を図る輸送需要平準化対策を講じた。その他、入場時間予約制度や万博P&R駐車場への事前予約制、混雑日時や利用経路等で駐車場利用料金を変動させるダイナミックプライシングの導入による需要平準化も実施した。

また、輸送供給拡大対策として、Osaka Metro 中央線については、ピーク時の最大運行本数を16本から24本に増やすとともに、最大運行本数の運行時間帯を拡大した。JR 桜島線についても、必要に応じてピーク時の最大運行本数を10本から12本に増やすこととなった。道路においても、阪神高速道路のJCT部等での交通容量拡大や舞洲、堺、尼崎の万博P&R駐車場周辺の交通対策を実施した。

しかしながら、こういった来場者輸送対策を実施しても、想定された日計画来場者数22.7万人^{※1}のもとでは、会期終盤や混雑が予測される特定の時間帯において、鉄道ではOsaka Metro 中央線の混雑率が約140%に達する見込みであり、また道路においても、阪神高速道路の渋滞長の延伸や舞洲への入口付近の交通集中という課題が解消されないことが想定されたことから、これらリスクの解消対策として、一般交通についても抑制、分散、平準化を目的としたTDMの実施を働きかけることとし、来場者輸送対策協議会において、下記のとおり、達成目標を設定した。

また、万博TDMの実施にあたっては、企業や府民・市民等の協力が不可欠であることから、分かりやすさ、取り組みやすさの観点から、一定期間の単位で、実施の強度を分けるものとした。

※1 総来場者数2,820万人のうち、ピーク時の1日あたりの来場者数の上位10%平均

<万博TDMにより、達成を目指す目標>

ア) 鉄道 Osaka Metro 中央線において混雑率120%^{※2}

イ) 道路 阪神高速道路における渋滞長は、通常時の最大を超えない。

※2 大阪圏に在する鉄道路線を通じた各路線主要区間の最混雑時間帯1時間の混雑率の平均値

第3章 万博 TDM 検討の軌跡

1. 推進体制の設置

(1) 2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議の設置概要

第2章3節に示した万博 TDM の目標達成に向け、2022(令和4)年12月27日に、「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」(以下、「交通円滑化推進会議」という。)を設置した。これは、万博会期中に万博関連交通と通勤や物流等に係る一般交通の輻輳による混雑を低減させるため、在宅勤務や時差出勤、混雑予測箇所の迂回等、住民や企業等の交通にあたっての行動変容を促す取組を官民一体となって検討・調整し、企業や府民・市民等に広く協力を働きかけるため設置したものである。

(2) 構成メンバー

交通円滑化推進会議は、表3.1のとおり、官民の関係者で組織した。

なお、事務局は、大阪府・大阪市万博推進局及び公益社団法人2025年日本国際博覧会協会交通局が担った。

表 3.1 構成メンバー

会長	大阪府知事
会長代行	大阪市長
副会長	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 事務総長
委員	公益社団法人関西経済連合会 会長
	大阪商工会議所 会頭
	一般社団法人関西経済同友会 代表幹事
協力委員	経済産業省 近畿経済産業局長
	国土交通省 近畿地方整備局長
	国土交通省 近畿運輸局長
	関西鉄道協会 会長
	近畿バス団体協議会 会長

交通円滑化推進会議に幹事会を置き、構成団体の実務担当者等に委員として参画いただいた。幹事会には、表 3.2 に示す大阪府・大阪市特別参与及び有識者にも参画いただき、様々なご意見を伺った。

表 3.2 大阪府・大阪市特別参与及び有識者

選任者	選任理由
神田 昌幸(大阪府・大阪市特別参与) (元 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会輸送局長)	東京 2020 大会において組織委員会輸送局長として交通・輸送関連業務全般を担当、首都高速の料金施策を含む大規模な交通マネジメント等を実践し、大会輸送を成功に導いた。万博においても、来場者の円滑な輸送を実現する必要があり、開催自治体として東京 2020 大会で実践された知見の活用を図るため
塩見 康博 教授 (立命館大学 理工学部 環境都市工学科)	道路交通や公共交通を対象に、都市・地域内の移動に関わる安全性・円滑性・効率性を改善するための交通マネジメント手法を提案する研究の知見を踏まえ、万博時の TDM について交通モード間の円滑化等の観点におけるご意見を伺うため
大庭 哲治 教授 (京都大学大学院 経営管理大学院)	都市内の歩きやすさを客観的に評価し、地理情報システム(GIS)を用いて、歩行活動量に対応する環境要因を分析するなど、歩行空間の効果的な整備手法の構築に関する研究の知見を有していることから、万博開催時における TDM について、歩行空間に起因する歩行活動等の観点からご意見を伺うため
Jan-Dirk Schmoecker 准教授 (京都大学大学院 工学研究科)	観光ルート、観光交通の意思決定等の行動分析等の知見を踏まえ、万博時の TDM について観光旅行者の行動変容等の観点でのご意見を伺うため



写真 3.1 第2回交通円滑化推進会議 集合写真
(会議の構成メンバー及び万博 TDM 協力意向企業)

(3) 交通円滑化推進会議の開催状況

2022(令和4)年12月27日の立ち上げ以降、計6回開催された。各回における議事は下記のとおりである。2025(令和7)年12月12日開催の第6回会議において、万博会期を通じた万博 TDM の総括を行った。

また、交通円滑化推進会議の円滑な運営を図るため、計11回の幹事会を開催し、万博 TDM の機運醸成に向けた実務的な検討を進めた。

表 3.3 交通円滑化推進会議の開催経緯

回次	開催日程	議事
第1回	2022年12月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議の設置について ・現状と今後の進め方(案)について
第2回	2023年12月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業への働きかけについて ・先導的取組について
第3回	2024年8月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業への働きかけについて ・TDMトライアル計画について ・今後の進め方
第4回	2024年12月23日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・TDMトライアルの検証結果 ・TDMパートナー企業登録促進に向けた取組 ・100日前広報について
第5回	2025年9月11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・6、8月における万博TDMの取組及び検証結果 ・TDM機運醸成に向けた取組 ・会期終盤に向けた広報方針
第6回	2025年12月12日(金) (書面開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・万博 TDM の取組及び検証結果について ・TDM パートナー登録について

2. 万博 TDM の働きかけ

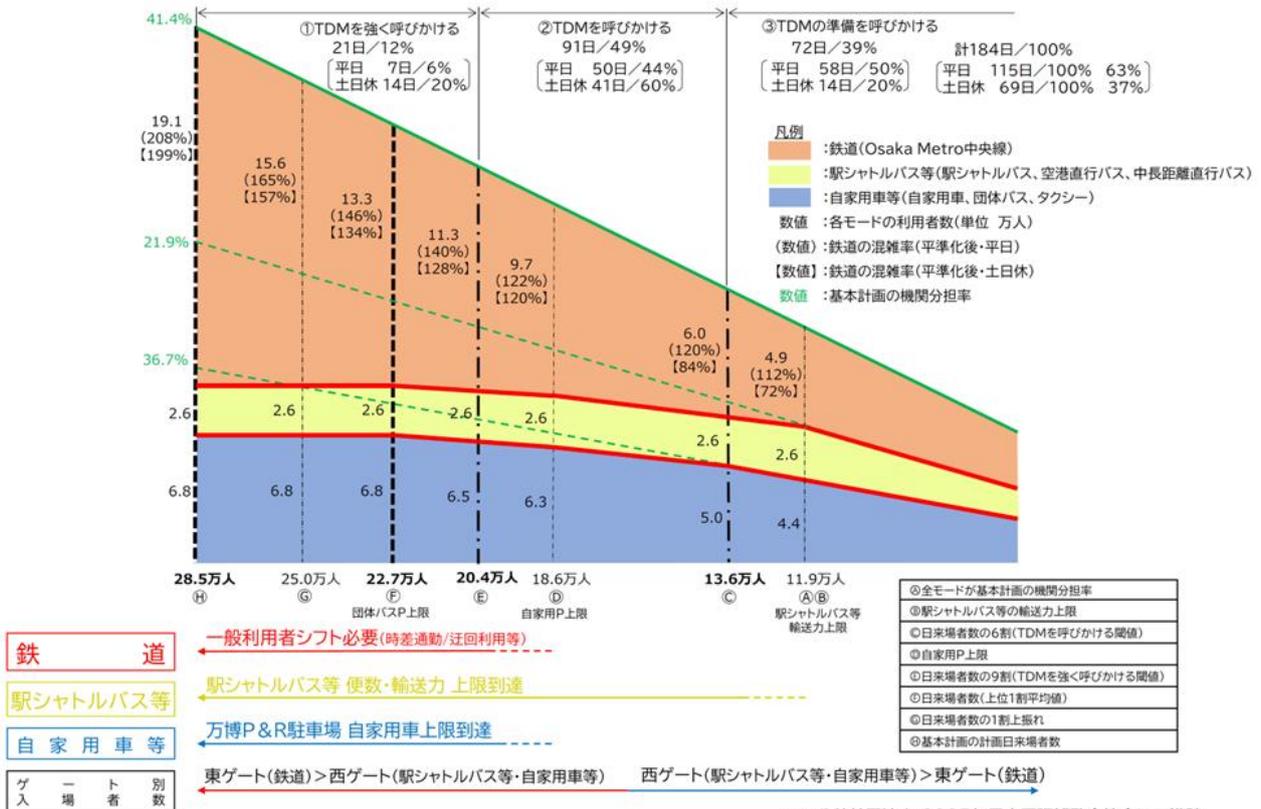
(1) 働きかけの期間

a) 日来場者数と機関分担率の推移

下記に来場者輸送具体方針における日来場者数と機関分担率の推移のシミュレーション結果を示す。

日来場者数が 10 万人までは、愛知万博ベースの機関分担率で輸送が行われるものと想定された。日来場者数が 11.9 万人に達すると、駅シャトルバス等の輸送力が、夢洲交通ターミナルや各駅バスターミナルの受け入れ容量及び各バス事業者が運行できるバスの便数等から限界に達し、18.6 万人に達すると、万博 P&R 駐車場の自家用車が受け入れ限界に達し、22.7 万人に達すると、団体バスも受け入れ限界に達する。

さらに、日来場者数が、概ね 20 万人を超えたあたりから、輸送における鉄道の割合が加速度的に増加するため、それに備えた対策が必要となった。



出典：大阪・関西万博 来場者輸送具体方針第 5 版

図 3.1 日来場者数と機関分担率の割合

第3章 万博 TDM 検討の軌跡

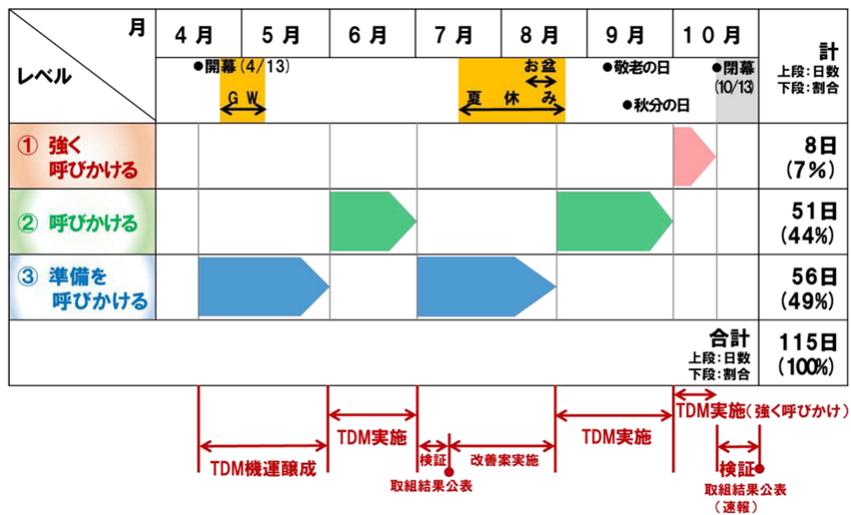


b) 需要予測に基づく期間別の万博 TDM の呼びかけ

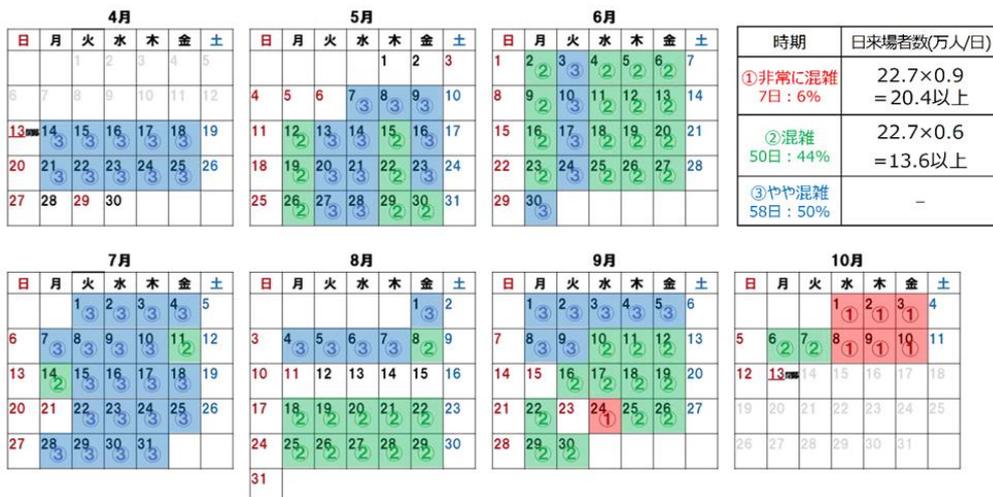
このため、鉄道の混雑率を踏まえながら、「TDM の準備を呼びかける」(来場者数 13.6 万人^{※1} / 日以下)、「TDM を呼びかける」(来場者数 13.6 万人/日から 20.4 万人^{※2}/日)、「TDM を強く呼びかける」(20.4 万人/日以上)の3段階に呼びかけの強度を分けることとした。その上で、需要予測に基づき、万博会期中の 6 月及び8月のお盆以降から9月までを「TDM を呼びかける」、会期終盤の 10 月を「TDM を強く呼びかける」期間とし、取組のメリハリ付けを行うことで、企業等の協力を得られやすいよう工夫を行った。また、自家用車や駅シャトルバス等による道路交通量も一定量見込まれることから、道路混雑対策に必要な万博TDMについても検討することとした。

※1 日計画来場者数(万博会期中の上位1割の平均来場者数)22.7 万人/日*6割(図3.1 参照)

※2 日計画来場者数(万博会期中の上位1割の平均来場者数)22.7 万人/日*9割(図 3.1 参照)



(参考)混雑 3 段階 日ごと割り付け(平日)



※万博 TDM 実施の呼びかけは、通勤・通学又は業務交通需要が大きい平日を対象として行うものとする。

※土日祝及びゴールデンウィークとお盆期間について、土曜日に港湾物流が稼働している等、会場周辺の交通特性があるものの、平日と交通需要が大きく異なることから、必ずしも、平日と同じ強度で万博 TDM の実施を呼びかける必要はないと考えられる。

出典:大阪・関西万博 来場者輸送具体方針第 5 版

図 3.2 万博 TDM の呼びかけの強度及び期間

(2) 働きかけの区間・時間帯

a) 鉄道利用者への働きかけの区間・時間帯

最も輸送力が大きく、かつ、万博会場に直接乗り入れることができる Osaka Metro 中央線(弁天町駅→コスモスクエア駅)や、Osaka Metro 中央線との乗換駅である本町駅へ向かう Osaka Metro 御堂筋線(梅田駅→本町駅)において混雑が予測された。このことから、両路線の平日朝ピーク時(8時台から10時台)の時間帯を対象として万博 TDM の取組を働きかけた。



① Osaka Metro 中央線の混雑予測



◆ 朝ピーク時の混雑率
 約70%(現在) → 何も取組しない場合 約140%(万博時)
 ピーク時16本/時間 → ピーク時 24本/時間 に増便

② Osaka Metro 御堂筋線の混雑予測



◆ 朝ピーク時の混雑率
 約140%(現在) → 何も取組しない場合 160%(万博時)
 ピーク時27本/時間

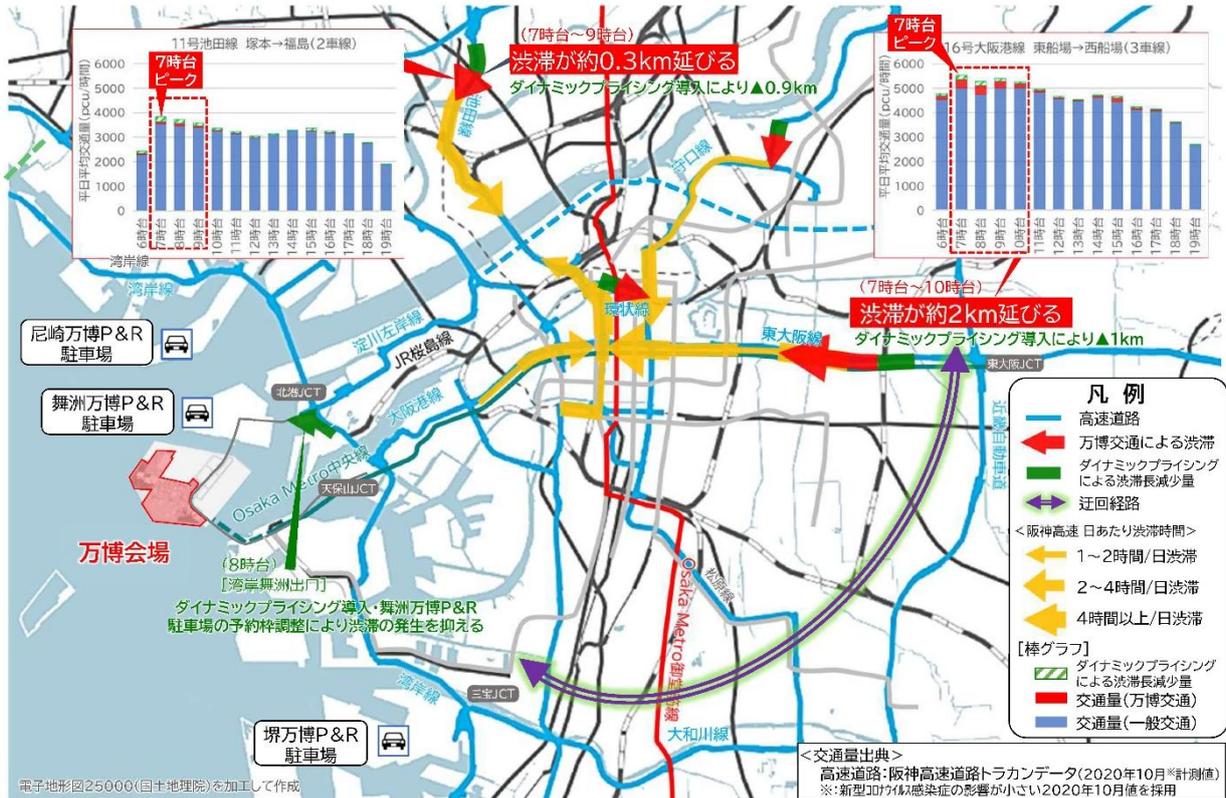
※Osaka Metroより2019年データ提供、博覧会協会で推計

出典:万博 TDM リーフレット

図 3.3 想定される主な混雑路線・区間 <鉄道・来場方向>

b) 道路利用者への働きかけの区間・時間帯

阪神高速道路 16 号大阪港線下り(東船場→西船場)で約2km、阪神高速道路 11 号池田線上り(塚本→福島)で約 0.3km 渋滞長が延伸すると予想されたため、平日午前中を対象に万博 TDM の取組を働きかけた。



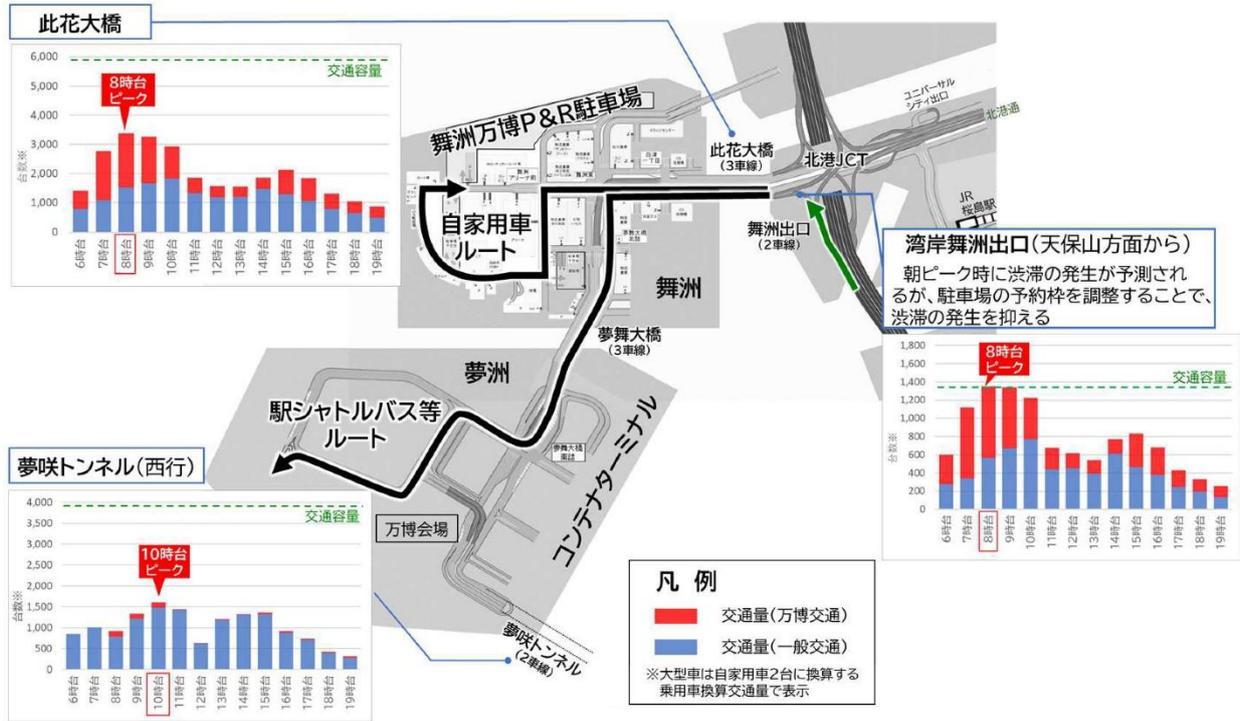
出典: 万博 TDM リーフレット

図 3.4 想定される主な混雑 < 道路・来場方向 >

第3章 万博 TDM 検討の軌跡



また、万博会場の周辺では、多くの来場者が自家用車や駅シャトルバス等で同時にアクセスすることにより、慢性的な渋滞が引き起こされる可能性があるため、会場の最寄り出口である阪神高速道路湾岸舞洲出口に加え、会場周辺の一般道路についても、平日午前中を対象に万博TDMを働きかけた。



出典:万博 TDM リーフレット

図 3.5 想定される主な混雑 <道路・来場方向>

(3) 働きかけの内容

万博 TDM による交通量低減に資する取組内容・メニューについて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事例等を基に検討した。

表 3.4 取組内容と主な取組メニュー

取組内容と主な取組メニュー	
 移動量・配送量を削減	<p>〈目的〉</p> <p>万博会場が混雑する期間※に、会場周辺等で、移動量等を削減する取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和</p> <p>〈主な取組メニュー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テレワーク ● 在宅勤務 ● オンライン会議の推進 ● 共同配送 ● イベント開催場所・時期の変更 等
 混雑時期・時間帯を回避	<p>〈目的〉</p> <p>万博会場が混雑する期間や来退場のピーク時間帯を避けた取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和</p> <p>〈主な取組メニュー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 時差出勤 ● フレックスタイム ● 外出・打合せ時間の調整 ● リードタイム(納品時期・時間)の変更 ● 配送時間の変更 等
 混雑場所・ルートを回避	<p>〈目的〉</p> <p>Osaka Metro中央線や阪神高速道路等の混雑区間を避けた取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和</p> <p>〈主な取組メニュー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移動・通勤ルートの変更(混雑区間を迂回) ● 配送経路の変更 ● 影響の低いエリアにある倉庫の活用 等

出典：万博TDMリーフレット



表 3.5 [参考]東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における取組例

企業の皆さまにお願いする取組例

人の移動に関わるもの

行動	分類	取組メニュー例	
		鉄道・道路共通	道路
全行動共通	量・回数を減らす	一斉休業／休暇の計画的な取得（夏季休暇・ボランティア休暇・有給休暇）／テレワーク	
		-	公共交通の利用
	場所・ルートを変える	郊外（影響が小さい地区）のサテライトオフィスの活用	
通勤	時期・時間をずらす	時差出勤／フレックスタイム制の導入	
会議・打合せ・商談	量を減らす	メール・電話等での代替	
	時期・時間をずらす	時期の変更（大会前後）／時間帯変更（観客や大会関係者が多く移動する時間帯を避ける）	
	場所・ルートを変える	-	影響が大きい箇所（競技会場周辺、ORN、混雑箇所）を回避した走行ルートの設定
イベント・セール・旅行商品企画	時期・時間をずらす	時期の変更（大会前後に変更）	
	場所・ルートを変える	影響が小さい地区での企画	

平成31年度・令和元年 支援事業

東京都オリンピック・パラリンピック準備局 → コンサルタントによる個別相談 ※プロジェクトへの登録が必要
 東京都産業労働局 → テレワーク導入に関するコンサルタントによる個別相談

HP (<https://consulting.metro.tokyo.jp/workstyle/>)

テレワークの取組事例・支援事業など：日本テレワーク協会HP (<https://japan-telework.or.jp/>)

75

企業の皆さまにお願いする取組例

物資の移動に関わるもの

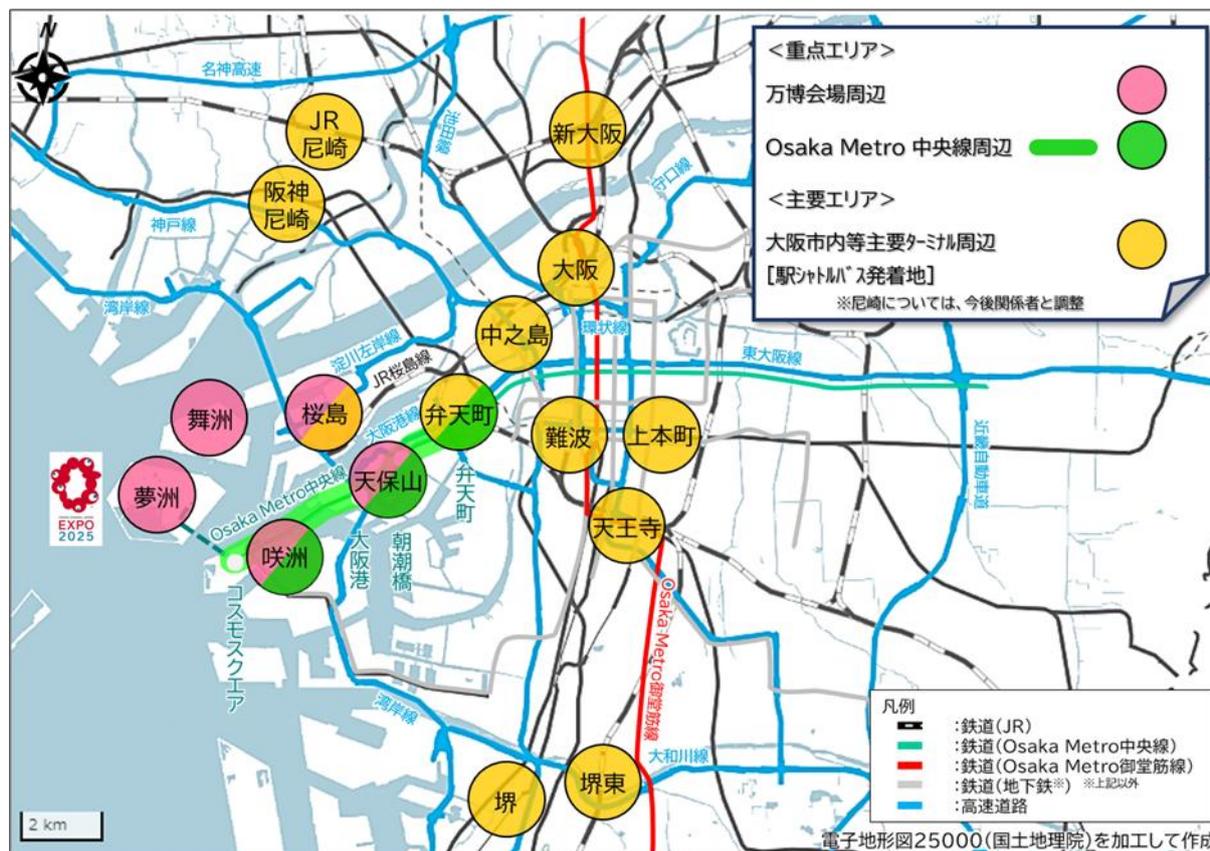
行動	分類	取組メニュー例
荷物発送 (発荷主)	量・回数を減らす	まとめ納品／返品・廃棄の抑制／共同配送／宅配便の営業所持ち込み/仕訳伝票の規格化への協力/パレット・クレート・段ボールの規格化への協力/
	時期・時間をずらす	納品時期の調整（大会前後、半年前等に変更）／夜間発送／昼間オフピーク発送
	場所・ルートを変える	影響が小さい地区の生産拠点・保管拠点の活用
荷物受取 (着荷主)	量・回数を減らす	まとめ発注・リードタイム（発注間隔）の延長／共同配送／宅配便の営業所引き取り/仕訳伝票の規格化への協力/パレット・クレート・段ボールの規格化への協力/検品レス
	時期・時間をずらす	在庫調整（大会前に受取）／時間指定の変更（朝着→昼間オフピーク着）／夜間受取（検品体制・保管方法の検討）
	場所・ルートを変える	影響が小さい地区の生産拠点・保管拠点の活用
荷物運搬 (物流業)	量・回数を減らす	車両の集約・大型化（荷捌きスペースの確保）／積載効率のアップ（共同化、帰り荷の確保）/仕訳伝票の規格化/パレット・クレート・段ボールの規格化/
	時期・時間をずらす	幹線輸送の夜間シフト
	場所・ルートを変える	影響が大きい箇所（競技会場周辺、ORN、混雑箇所）の回避した走行ルートの設定

76

出典：国土交通省関東運輸局 HP (<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000159585.pdf>)

(4) 働きかけのエリア

万博会場周辺や Osaka Metro 中央線は来場者等により、人流・物流が集中し、混雑が予想されることから、重点エリアと位置づけた。加えて、駅シャトルバス発着地周辺地域等のエリアについても人流の集中や混雑が予想されることから、主要エリアと位置づけた。



出典：万博TDMリーフレット

図 3.6 重点エリア・主要エリア箇所図

3. 企業等への働きかけ

(1) 万博 TDM パートナー登録制度の設立

万博 TDM の推進にあたり、企業等に万博 TDM の必要性を分かりやすく伝えることが重要であり、交通円滑化推進会議立ち上げ以降、企業へのヒアリングや説明会を実施した。

ヒアリングの結果、混雑の影響を受ける企業は万博 TDM に関心を持っており、特に「万博時の交通状況を知りたい」というニーズがあることが分かった。

これを受け、企業への働きかけにあたっては、万博 TDM を知らない方々には「万博 TDM の内容や必要性を知っていただく」ことを、万博 TDM に関心を持たれている方々には「交通状況をより理解していただく」ことを狙いとした取組が必要であった。

そこで、万博 TDM に取り組むにあたっての企業等における準備期間を鑑みて、早期に働きかけることとし、万博 TDM の取組にご協力いただける企業等を募集する「万博 TDM パートナー登録制度」を2024(令和6)年2月20日より開始し、交通混雑緩和の取組を促進する仕組みを構築した。

<2024年2月20日時点の募集内容>

登録要件

下記の①～③までの全ての要件を満たす企業、団体及び個人事業主(以下、「団体等」という。)を対象とする。

- ① 大阪府内に事業所・活動拠点等を有する団体等
- ② 大阪・関西万博開催期間に万博 TDM の取組にご協力いただける方
(万博 TDM 実施、取組内容のアンケートへの回答等)
- ③ 暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力との関係を有する組織ではないとともに公序良俗に反する団体等ではない方

登録のメリット

- ① メールマガジンの配信
交通状況の更なる理解、万博 TDM の検討の深度化を期待し、万博開催時の交通情報・他の企業の取組等の参考情報をプッシュ型でメールマガジンを配信した。
- ② 万博 TDM パートナー登録専用ホームページ
万博 TDM パートナー登録のための専用ホームページを開設するとともに、万博 TDM に取り組む企業の拡大、取組意欲の向上を期待し、企業名を公表した。
- ③ 万博 TDM パートナー登録証の発行
万博 TDM に取り組む企業等の拡大、取組意欲の向上を期待し、登録していただいた企業等に対して万博 TDM パートナー登録証を発行した。



図 3.7
万博 TDM パートナー登録証

(2) 万博 TDM パートナー登録企業募集チラシの作成

万博 TDM パートナーの募集にあたり、概要や登録のメリット等を取りまとめたチラシを作成した。A4両面に収まるよう掲載内容を絞り、万博 TDM パートナーの概要、登録のメリット、万博 TDM の必要性等を取りまとめ、万博 TDM パートナー登録専用ホームページに掲載した。

2025年大阪・関西万博会期中の交通混雑に備えるために

万博TDMパートナー登録企業募集

登録のメリット

- ①事前の備えにお役立ち
・ブッシュ型で情報が届きます
・会期中の混雑情報、説明会の案内等
- ②企業イメージが向上
・取組がHPで公表されます
・登録証を提示できます
- ③SDGsの実現に貢献
・住みやすいまちに等

「万博TDMパートナー」とは

万博期間中の円滑な万博来場者輸送と都市活動の両立をめざすため、一般交通の抑制や分散、平準化の取組にご協力いただく企業の皆様です。

【ご協力いただきたい主な取組】

- ◆移動量・配送量を削減する取組 [在宅勤務、まとめて納品、等]
- ◆混雑時期・時間帯を回避する取組 [時差出勤、納品時期の変更、等]
- ◆混雑場所・ルートを回避する取組 [迂回通勤、配送ルートの変更、等]

登録要件	万博会期中の交通混雑を緩和していく取組にご賛同いただける企業・団体等 事業所または部署単位での登録も可能です。要件の詳細は専用HPをご確認ください。
登録方法	登録受付期間内に「万博TDM/パートナー」専用ホームページからご登録ください ご登録完了時に、登録証(PDFデータ)を発行します。
登録期間	2025年10月13日(月)まで
主催	2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議 会長 大阪府知事 (会長代行) 大阪市長 副会長 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 専務総長 委員 公益社団法人関西経済連合会 会長、大阪商工会議所 会頭、一般社団法人関西経済同友会 代表幹事 協力委員 経済産業省近畿経済産業局長、国土交通省近畿地方整備局長、国土交通省近畿運輸局長、 関西鉄道協会 会長、近畿バス団体協議会 会長
お問い合わせ先	大阪府・大阪市万博推進局整備調整部 電話番号 06-6690-7731(平日9時~18時のみ)
専用ホームページ	https://www.city.osaka.la.jp/banpakusuishin/page/000618137.html

TDMとは
鉄道や道路利用者による交通発生量の調整や時間・経路の変更など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、交通混雑を緩和していく取組をいいます。

企業の皆さまへ
2025年大阪・関西万博会期中における円滑な交通の実現にご協力をお願いします!

- 万博には多くの人々が来場します!
[1日あたり 約22.7万人/日^{※1}]
● 来場者による交通手段の利用内訳
【鉄道:約12.4万人/日^{※2}】【道路:約10.3万人/日^{※3}】
注1:日來場者数の上位1割平均
注2:Osaka Metro中央線を利用する来場者数
注3:近畿インクルーシブバス等、自家用車等を利用する来場者数
- それらに伴い、会場周辺や大阪市内等の主要駅周辺へ、人流と物流の集中が想定
何も取り組みを行わないと・・・
● 一部の鉄道や道路で来場者による万博交通と通勤や物流等の一般交通が1箇所へ集中し、混雑の発生が想定
- これらの交通混雑が企業活動等へ影響を与える可能性があります
- 円滑な交通の実現に、企業の皆さまのご協力をお願いします!

協定区間

平日8時から10時にOsaka Metro中央線の弁天町から朝潮橋間において、混雑が約2倍に増加
【混雑率: (現在)約70% → (取組なし)約140%】等

平日8時に阪神高速5号湾岸線の湾岸舞洲出口を先頭に天保山JCT方面へ、新たに約1kmの渋滞が発生
【(現在)渋滞なし → (取組なし)通過に約5分所要】等

鉄道の場合	道路の場合
<p><取組なし></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の出勤率を継続等 <p>↓</p> <p>利用したい時間の列車に乗れない等</p>	<p><取組なし></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 混雑箇所を避けず経路を変更しない <p>↓</p> <p>目的地への到着が遅れる等</p>
<p><取組あり></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在宅勤務等を推進し、移動量を削減等 <p>↓</p> <p>利用したい時間の列車に乗れる等</p>	<p><取組あり></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 混雑区間を避けた経路の変更等を推進等 <p>↓</p> <p>迂回により目的地への到着が遅れない等</p>

これらのリスクを回避することで、企業活動等への影響を最小限に抑制

図 3.8 万博 TDM パートナー登録企業募集チラシ(2024 年 2 月時点)

(3) 万博 TDM リーフレットの作成

万博 TDM パートナー募集にあたり、A4両面のチラシよりもさらに詳細な情報を網羅した、企業向けリーフレットを作成した。チラシの情報に加え、万博会場へのアクセスルート(鉄道・道路)、万博会期中の混雑予測、時間別の来退場予測、想定される主な混雑区間(鉄道・阪神高速道路・会場周辺道路)、万博 TDM による達成目標ならびに取組内容等を取りまとめた。

(4) 万博 TDM パートナー登録に関する情報発信

万博 TDM パートナー登録促進のため、前述の万博 TDM パートナー登録企業募集チラシや万博 TDM リーフレットを活用し、あらゆる機会をとらえて積極的な周知・情報発信に努めた。

具体的には、大阪府・市・博覧会協会・経済団体によるホームページへの掲出や、Instagram・X 等の SNS を利用した発信等に加え、下記の表のとおり個別訪問や説明会等による情報発信を行った。

表 3.6 万博 TDM パートナー登録に関する情報発信(2024(令和6)年2月~2024年9月時点)

発信ツール	件数	備考
メールマガジン	約19,000社・団体	・経済団体 会員企業 ・近畿圏内商工会議所 等
個別依頼・訪問	約3,600社・団体	・万博会場周辺区の企業・団体 ・大阪市エリアマネジメント団体 ・Osaka Metro 中央線沿線主要集客施設 等
広報誌	7誌	・関西経済連合会 会報誌 ・大阪商工会議所 会報誌 ・関西鉄道協会 会報誌 ・中小企業お役立ち情報(大阪産業局) ・区広報誌(此花区・港区・住之江区)
説明会	27回	・万博会場周辺区における企業・団体向けの説明会 ・経済団体 会員企業向けの説明会 等

4. 大阪府・市各部署への働きかけ

企業等へ万博 TDM への協力を働きかけるとともに、地元自治体である大阪府・市が積極的に万博 TDM に取り組む必要があるため、特に混雑が予測された Osaka Metro 中央線(弁天町駅→朝潮橋駅間)区間を通勤経路とする職員が多い咲洲庁舎・ATC 庁舎部局を中心に、実施可能な取組メニューを検討した。検討にあたり大阪府・市各部署へ万博 TDM についての説明や、アンケート調査及びヒアリング調査を実施した。

(1) 説明会及びアンケート調査の実施

万博 TDM の必要性を理解し、万博 TDM の取組への協力と各部署における実行可能な取組を把握するため、2023(令和5)年7月20日に説明会を開催し、その後、アンケート調査を実施した。

調査の結果、テレワークや休暇取得等が実行可能な取組として回答が多かった。一方で、サテライトオフィスの確保・充実や窓口等の業務において一定数の職員確保等が課題として挙げられた。

調査期間： 2023(令和5)年7月20日～8月10日

調査対象： 府市全部局

調査内容： 各部署が実行可能と考える TDM 取組項目・内容及び、取組項目の課題等

(2) 各部署へのヒアリングの実施

咲洲庁舎・ATC 庁舎部局に通勤する職員については、特に混雑する期間(2025(令和7)年10月1日から10月13日)において、在宅勤務、サテライトオフィス(代替の執務室)勤務、休暇取得等の取組により約7割の通勤削減を目指す想定のもと、目標の達成に向け、各部署の業務上の課題を把握するため、改めて咲洲庁舎・ATC 庁舎部局に対して検討状況の説明及びヒアリングを実施した。

ヒアリングの結果、咲洲庁舎・ATC 庁舎勤務職員の全体数把握段階であるが自部署のサテライトオフィスだけでは約7割の通勤削減の達成が厳しいといった意見があったため、追加のサテライトオフィスの確保に向け、関係部局との調整を実施していくこととした。

実施期間： 2023(令和5)年12月8日～12月15日

調査対象： 咲洲庁舎・ATC 庁舎の各部署

調査内容： 取組実施にあたっての課題等の懸念事項、
咲洲庁舎・ATC 庁舎の勤務職員の全体数の確認等

(3) 大阪府・市の取組

(1)から(2)の結果を踏まえ、交通円滑化推進会議(第2回)において、以下の取組メニューを公表し、万博 TDM に取り組んだ。

・テレワーク推進・休暇取得促進等による通勤削減

特に、Osaka Metro 中央線の混雑緩和に寄与するため、咲洲庁舎・ATC 庁舎部局に通勤する職員については、以下の通勤削減目標を設定した。その他の部局についても一定の通勤削減を引き続き検討することとした。

非常に混雑する期間:2025(令和7)年10月1日～10月13日

⇒7割^{※1}の通勤削減

混雑する期間:2025年6月1日～6月30日、8月18日～9月30日

⇒3割^{※2}の通勤削減

・オンライン会議の活用等による出張抑制

・庁用自動車の利用時に混雑予測箇所を回避

・備品の納品時期の調整

・主催の研修やイベントの開催時期・場所・方法の調整

・発注工事の調整(施工時期・時間等)

※1 緊急事態宣言下において、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に示された出勤抑制率7割を削減可能な最大数として設定

※2 緊急事態宣言下に準ずる「まん延防止等重点措置期間」において、大阪府の出勤抑制の実施率が3割程度であったことから、取組割合として設定



5. 万博開幕までの進め方

万博会期本番での万博TDMの実効性を高めるため、万博会期終盤の最混雑期に相当する期間の1年前にあたる2024(令和6)年9月から10月に万博TDMの試行(トライアル)を実施することとした。

また、府民・市民等への働きかけは、万博の機運醸成が進んだ段階の方が、情報の浸透が期待されるため、開幕100日前から開始することとした。

万博開幕までの進め方



出典:第2回 交通円滑化推進会議資料(一部加工)

図 3.11 万博開幕までの進め方

第4章 万博 TDM トライアル

1. 取組の経緯・概要

万博 TDM トライアルの経緯と概要を以下に示す。

(1) 万博 TDM トライアルの経緯

万博会期中に最も来場者が集中し、混雑が想定される会期末盤の1年前に、企業や府民・市民等が実際に万博 TDM の取組を行うことで、交通量低減の効果を確認するとともに、課題を把握し、必要な対策等を検討するため、万博 TDM の試行として「万博 TDM トライアル」(以下、「トライアル」という。)を実施した。

(2) トライアルの概要(目的、期間、対象等)

a) 目的

- ・万博 TDM パートナー等によるトライアルへの参加、ならびに課題の把握
- ・トライアルの内容と交通量低減の相関関係把握(交通量低減における万博 TDM の有意性確認)
- ・検証結果の公表による万博 TDM の取組の重要性に対する企業の意識向上

b) 実施期間

最も来場者が集中する会期末盤の1年前となる、2024(令和6)年9月30日(月)から10月4日(金)をトライアル期間と設定した。

《2024年カレンダー》

日	月	火	水	木	金	土
9/22	23	24	25	26	27	28
29	30	10/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19

TDMトライアル期間 (9/30~10/4)

《(参考)2025年カレンダー(万博開催年度)》

日	月	火	水	木	金	土
9/21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	10/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18

万博最混雑期(会期末10/1~13)

13 閉幕日

図 4.1 万博 TDM トライアル期間

c)実施対象

- ・万博 TDM パートナー等
- ・交通円滑化推進会議構成団体(大阪府・市、博覧会協会、経済団体、交通事業者等)
- ・大阪市内の国機関*(約 40 機関・事業所)

※内閣官房国際博覧会推進本部事務局を通じて働きかけ

d)実施対象エリア

万博会期中における取組と同様に、下記「重点エリア」「主要エリア」を実施対象エリアとして設定した。

[重点エリア] Osaka Metro 中央線周辺、万博会場周辺
 [主要エリア] 大阪市内等の主要ターミナル周辺の駅シャトルバス発着地

また、当該エリア以外の企業についても商談や打合せで Osaka Metro 中央線や万博会場周辺の道路の利用が想定されることから、重点エリア・主要エリアを含む大阪府全域の企業を対象にトライアルへの協力を働きかけることとした。



図 4.2 重点エリア・主要エリア箇所図(再掲)



e)取組内容

鉄道については、万博交通の集中が予測される Osaka Metro 中央線・御堂筋線の平日朝ピーク時(8時台から10時台)の利用を回避する行動、道路については、万博交通の集中が予測される平日午前における万博会場周辺等の一般道路、阪神高速道路の利用を回避する行動を働きかけた。

これを実行するために、在宅勤務、休暇取得等の「移動量・配送量を削減する取組」、時差出勤等の「混雑時期・時間帯を回避する取組」、通勤経路の変更等の「混雑場所・ルートを回避する取組」の取組例の中から実施可能な取組について実践いただいた。



図 4.3 万博 TDM トライアルの主な取組メニュー

(3) 交通円滑化推進会議構成団体の取組

トライアル期間について、万博 TDM パートナー等の、企業の皆さまによる取組に加え、大阪府・市や博覧会協会においても、取組を実施した。

具体的には、咲洲庁舎、ATC 庁舎部局の大阪府・市職員、及び博覧会協会は、会期終盤の最混雑期を見据え、時差出勤や在宅勤務等により Osaka Metro 中央線の午前中の混雑時間帯における7割の通勤削減を目指した。加えて、目標値は設定しなかったものの、交通円滑化推進会議構成団体である経済団体、国機関、鉄道・バス・トラック事業者等においても、トライアルの実施及び、会員企業や関係企業等への周知を行った。

2. トライアルに伴う広報

(1) 広報物の作成

トライアルの対象が重点エリア・主要エリアを含む大阪府全域の企業のため、多くの企業の方に、トライアルに対する認知・協力への機運醸成に向け、取組対象や取組内容等について訴求した広報を実施した。また、広報には大阪・関西万博公式キャラクターのミャクミャクを活用し、赤と青のカラーリングで“万博らしさ”を演出し、万博の取組であることを訴求した。

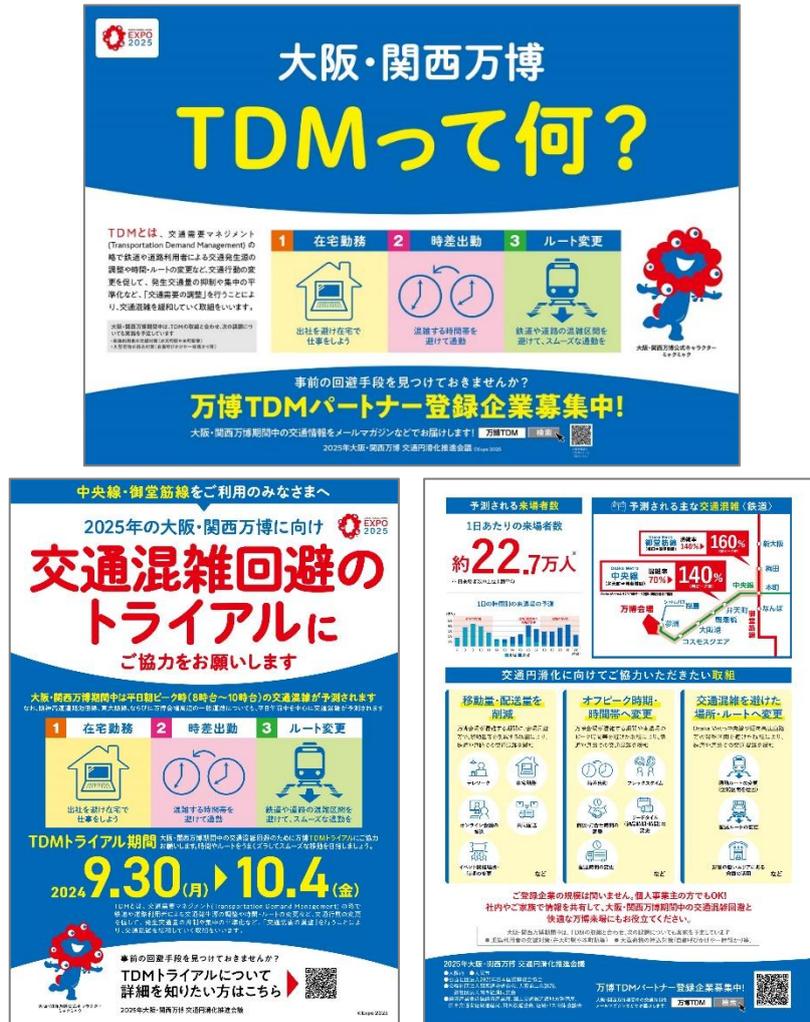


図 4.4 ポスター(上)・チラシ(下)

(2) 広報物の掲出場所(Osaka Metro 等)

特に混雑が予想される Osaka Metro において、中央線や御堂筋線を中心に、車内ドア横や駅構内等へ広報物を掲出した。

また、交通円滑化推進会議構成団体である経済団体(関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会)や鉄道会社(JR 西日本、阪神電鉄、阪急電鉄等)、国機関(近畿地方整備局、近畿運輸局、近畿経済産業局)の協力により、各々が所有する施設や広報誌にも掲出した。

加えて、Osaka Metro 主要駅や区役所(此花区・港区・住之江区)へのチラシ配架も実施した。

表 4.1 Osaka Metro での掲出場所

媒体	掲出場所	掲出期間
車内ドア横ポスター ※1車両につき1枚掲出	Osaka Metro 全線の全車両(1,440枚) ※ニュートラム線除く	2024年9月10日～30日
駅構内ポスター	Osaka Metro 御堂筋線:新大阪駅(2枚)、 梅田駅(6枚)、心斎橋駅(2枚)、なんば駅(4枚) Osaka Metro 谷町線:東梅田駅(2枚)、天王寺駅(2枚) Osaka Metro 四つ橋線:西梅田駅(2枚)	2024年9月9日～22日
	Osaka Metro 御堂筋線:新大阪駅(2枚)、 梅田駅(6枚)、心斎橋駅(2枚)、なんば駅(2枚) Osaka Metro 中央線:本町駅(2枚)	2024年9月23日 ～10月4日
改札内ポスター	Osaka Metro 本町駅(18枚)、梅田駅(42枚) ※階段やエスカレーター横に連続してポスターを掲出し、集中的に 広報を実施	2024年9月16日 ～10月4日



写真 4.1 Osaka Metro 駅構内及び車内ポスター



写真 4.2 大阪商工会議所 デジタルサイネージ(左)・近畿地方整備局 デジタルサイネージ(右)



写真 4.3 近畿運輸局 ポスター(左)・西日本旅客鉄道 デジタルサイネージ(右)



写真 4.4 阪神電気鉄道 デジタルサイネージ(左)・いちようテラス淀屋橋 デジタルサイネージ(右)



(3) WEB 広告

万博 TDM パートナー登録促進と、企業や府民・市民等の万博 TDM への協力を促すため、WEB 上での働きかけを実施した。

配信後には万博 TDM 専用ホームページ、万博 TDM パートナー登録専用ホームページへ遷移した人数を調査し、トライアル以降の広告媒体選定の指標として活用した。

表 4.2 WEB 広告一覧

媒体種類	媒体概要	掲出先	目的	配信対象	配信期間と実績
検索広告	特定のキーワード※1を検索した際に、検索結果の画面内に表示できる媒体	Google 検索広告	・万博 TDM パートナー登録 ・万博 TDM への 認知拡大	・大阪府内の 従業員 ・府民・市民等	2024年9月20日 ～10月30日 ・表示回数:9,731回 ・クリック数:872回
		Yahoo! 検索広告			2024年11月1日 ～2025年1月26日 ・表示回数:23,056回 ・クリック数:1,626回
ディスプレイ 広告	ウェブサイトやアプリ等の広告枠に画像とテキストを掲出できる媒体	Facebook Instagram	・万博 TDM パートナー登録	・大阪府内の 従業員 ・梅田やなんば 等の主要な ビジネス街の 従業員 ・大阪府内の 従業員	2024年9月20日 ～10月30日 ・表示回数:2,579,340回 ・クリック数:20,891回
		ニュースサイト 等の広告面※2			

※1 キーワード(一部抜粋)

Google の場合: 万博 募集、万博 TDM、TDM、関西万博 TDM、大阪万博 企業参加

Yahoo! の場合: SDGs、万博 募集、関西万博 募集、大阪万博 募集、インフラ

※2 マイクロアド社の広告配信サービスである UNIVERSE Ads を活用



Google 検索広告、Yahoo! 検索広告



ニュースサイト等の広告面



Facebook、Instagram
※一般投稿された画像や動画の合間等に掲載

図 4.5 WEB 広告掲載イメージ



図 4.6 WEB 広告掲載バナー

第4章 万博 TDM トライアル



(4) 万博 TDM トライアル専用ホームページの立ち上げ

大阪市ホームページ上における万博 TDM パートナーの登録受付のためのホームページとは別に、トライアルにおける広報や後述するトライアル後に実施したアンケートへの受け皿(遷移先)として、万博 TDM トライアル専用ホームページを作成した。

以降、トライアルの結果や万博会期中における万博 TDM に関する各種取組の成果や広報関係等については、随時、当該ホームページを更新しながら掲載した(トライアル終了後は、万博 TDM 専用ホームページに改称して更新した)。

図 4.7 万博 TDM トライアル専用ホームページ

3. トライアルの検証結果

(1) 鉄道の混雑状況

a) 検証内容

検証期間は、トライアル実施期間の、2024(令和6)年9月30日から10月4日とし、比較対象週を、トライアル週の前後週とした。なお、前週については、9月16日(月)及び23日(月)が祝日であったため、当該週を除く直近の週として、9月9日の週を採用した。

検証区間は、Osaka Metro 中央線で最も混雑が予測された「弁天町駅→朝潮橋駅」区間、検証時間は、混雑対策が必要となる平日朝ピーク時の8時台から10時台とした。

検証内容は、大きく3項目とした。

1点目は、万博 TDM パートナー、咲洲・ATC 部局の大阪府・市、博覧会協会等の取組効果を把握するため、「Osaka Metro のコスモスクエア駅、トレードセンター前駅の降車人数の変化」を検証した。

2点目は、Osaka Metro 中央線で最も混雑が予測される「弁天町駅→朝潮橋駅間」の区間混雑率の変化を検証した。

3点目は、トライアル時は万博来場交通がないため、想定に基づいた万博需要を加味した場合のOsaka Metro中央線「弁天町駅→朝潮橋駅間」の混雑率が目標の120%を達成できているのかを検証した。



b) 検証結果

(i) Osaka Metro のコスモスクエア駅、トレードセンター前駅の降車人数

トライアル週の後半(10月2日(水)から4日(金))においては、前週及び後週よりも、コスモスクエア駅とトレードセンター前駅の降車人数の合計値が多い結果となった。



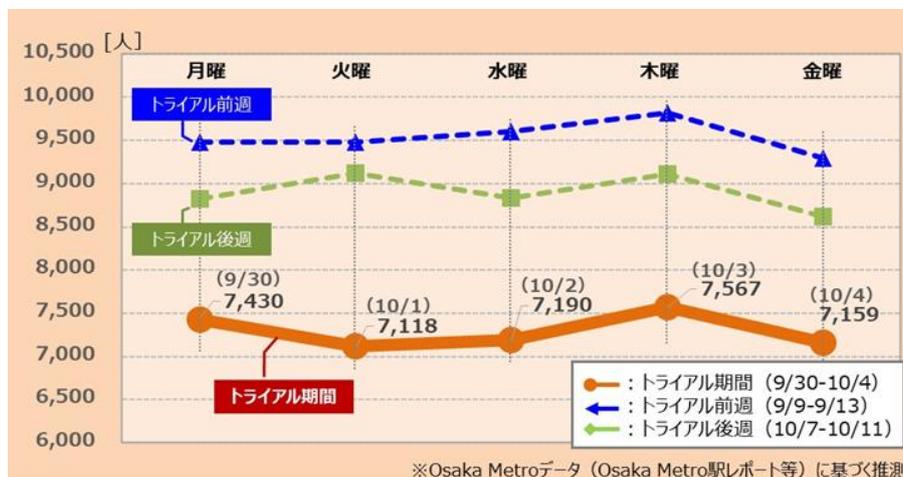
出典: 第 4 回 交通円滑化推進会議資料

図 4.8 コスモスクエア駅・トレードセンター前駅の降車人数(8～10 時台)

万博 TDM の取組を行ったにもかかわらず、なぜトライアル週後半においては、このような結果になったのか、その原因を分析した結果、イベント利用者や大学通学者等、Osaka Metro 中央線沿線主要集客施設等の利用状況の影響であることが判明し、万博会期本番に向け、これら主要集客施設等との調整、連携が必要であることが確認された。

このため、これら沿線主要集客施設等の利用者(大阪府・大阪市万博推進局により試算)を除く降車人数により、交通量低減量の検証を行った。

その結果、トライアル週の降車人数が前後の比較対象週と比較して、概ね20%減と大きく下回っていることが判明し、万博 TDM パートナー、大阪府・市、協会等の取組が交通量低減に効果があることが確認された。



出典: 第 4 回 交通円滑化推進会議資料

図 4.9 沿線主要集客施設等の要素控除後のコスモスクエア駅・トレードセンター前駅の降車人数(8～10 時台)

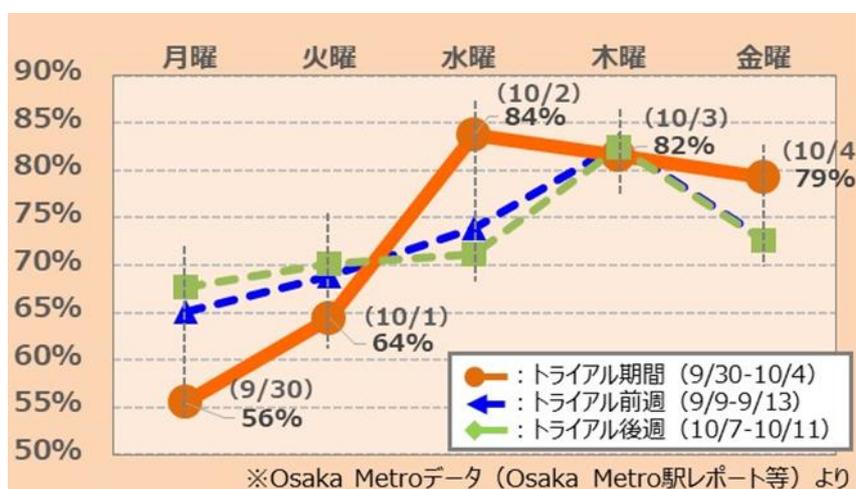


(ii) Osaka Metro 中央線(弁天町駅→朝潮橋駅)の区間混雑率

来場者輸送具体方針における日計画来場者数 22.7 万人を前提に、平日朝ピーク時において、最も混雑率が高いことが想定された8時台に着目して、混雑率の変動を確認した。

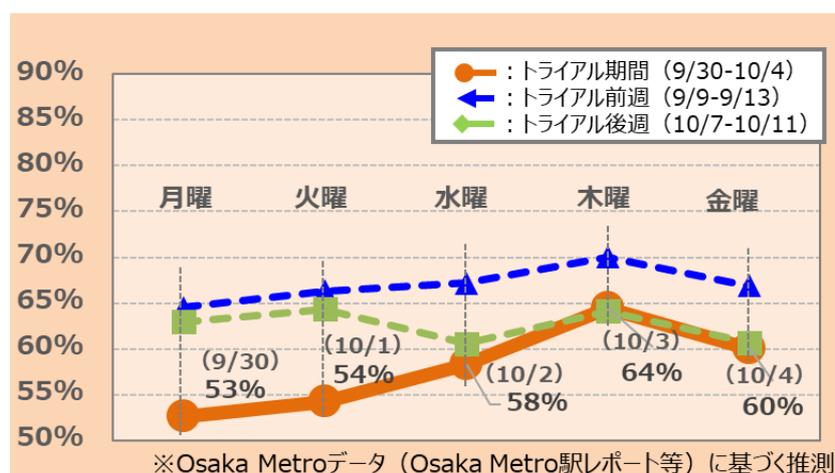
その結果、図4.11 のとおり、試算した沿線主要集客施設等の利用者を除いた後では、来場者輸送具体方針で想定した平時約 70%の想定から約 58%まで交通量が低減したことが確認された。

- ・沿線主要集客施設の要素控除「前」 (平時)70% → (TDMトライアル週後半の平均) 82%
- ・沿線主要集客施設の要素控除「後」 (平時)70% → (TDMトライアル週の平均) 58%



出典:第4回 交通円滑化推進会議資料

図 4.10 〔沿線主要集客施設要素控除「前」〕Osaka Metro 中央線「弁天町駅→朝潮橋駅」区間混雑率



出典:第4回 交通円滑化推進会議資料

図 4.11 〔沿線主要集客施設要素控除「後」〕Osaka Metro 中央線「弁天町駅→朝潮橋駅」区間混雑率

第4章 万博 TDM トライアル



(iii)万博需要を加味した Osaka Metro 中央線(弁天町駅→朝潮橋駅)の混雑率

トライアルは開幕前に実施したため、開幕後に増加する万博需要が無い状態での検証であった。そのため、万博交通需要を加味した場合に、万博 TDM による Osaka Metro 中央線の混雑率達成目標である120%に対して、どの程度、混雑率を低減することができたのか検証した。

その結果、表4.3のとおり、沿線主要集客施設等の利用者を除いた「後」の混雑率では124%から130%と、来場者輸送具体方針で想定される万博時の Osaka Metro 中央線の混雑率140%から大きく低減する結果となり、改めて今回のトライアルを通じて、万博 TDM パートナー、大阪府・市、協会等による取組が、Osaka Metro 中央線の交通量低減に効果があることが確認された。

一方で、今回の分析過程で除いた沿線主要集客施設等の利用者数は、万博開催時においても同等の規模が見込まれることから、沿線主要集客施設等の利用者を見込んだ場合、本トライアルレベルでの取組を万博会期本番で実行できたとしても、表4.4のとおり、140%から145%の混雑率が想定された。120%の達成目標を目指すとなると、トライアル時より更に約4,000人から5,000人規模での取組が必要になるという結果となり、沿線主要集客施設等の利用を見込んだ上で、いかに混雑率低減を実現するかが課題となった。

表 4.3 〔沿線主要集客施設等の要素控除「後」〕Osaka Metro 中央線(弁天町駅→朝潮橋駅)区間混雑率

万博需要(8時台) ※平日・予約枠による平準化後	1.7万人				
一般需要(8時台) ※平日・トライアル結果によるもの	9月30日(月)	10月1日(火)	10月2日(水)	10月3日(木)	10月4日(金)
	0.7万人	0.7万人	0.7万人	0.8万人	0.8万人
万博需要 + 一般需要	2.4万人	2.4万人	2.4万人	2.5万人	2.5万人
混雑率 ※中央線を16本/h⇒24本/hへ増便予定	124%	124%	124%	130%	130%

出典:第4回 交通円滑化推進会議資料

表 4.4 〔沿線主要集客施設等の要素控除「前」〕Osaka Metro 中央線(弁天町駅→朝潮橋駅)区間混雑率

万博需要(8時台) ※平日・予約枠による平準化後	1.7万人				
一般需要(8時台) ※平日・トライアル結果によるもの	9月30日(月)	10月1日(火)	10月2日(水)	10月3日(木)	10月4日(金)
	0.7万人	0.8万人	1.1万人	1.0万人	1.0万人
万博需要 + 一般需要	2.4万人	2.5万人	2.8万人	2.7万人	2.7万人
混雑率 ※中央線を16本/h⇒24本/hへ増便予定	124%	130%	145%	140%	140%

出典:第4回 交通円滑化推進会議資料

(2) 「企業」及び「主に駅利用者」の取組状況(アンケート結果)

a) アンケート対象

万博 TDM パートナー等の取組状況について、トライアル後に、万博 TDM パートナーに登録している事業所、及びその事業所の従業員に加え、駅利用者等を対象にアンケートを実施した。

分析は、「TDM パートナー登録企業」と「主に駅利用者」の属性別に、トライアルの取組に関する結果を整理し、万博に向けた課題及び改善点について整理した。

実施対象		 :TDM登録企業	 :主に駅利用者	
NO	対象分類	対象	方法	回収数/対象数
1	事業所	TDMパートナー登録事業所	TDMパートナー企業へメールマガジンにてアンケート配信	107件 /448件 ※トライアル開始前(2024.11.1)の登録数
2	従業員	TDMパートナー登録事業所の従業員	TDMパートナー企業窓口より、従業員へ配信	1133件
3	駅利用者	大阪メトロ中央線の朝潮橋、大阪港、コスモスクエア駅の利用者	改札を通過される方に、アンケートQRコードを記載したステッカーを配布 ※主に一般の方々の取組状況について把握	886件
4	駅利用者(WEB)	大阪府+近隣市*に居住し、通勤で8,9,10時台に鉄道を利用されている方 *京都・奈良・兵庫の一部	楽天インサイトのwebモニターを対象に5万人に配信し、条件に該当する方を抽出し回答を依頼 ※主に一般の方々の取組状況について把握	1,000件
5	専用HP掲載	1～4以外	TDMパートナー専用HPにアンケートリンクを掲載 ※主に一般の方々の取組状況について把握	30件

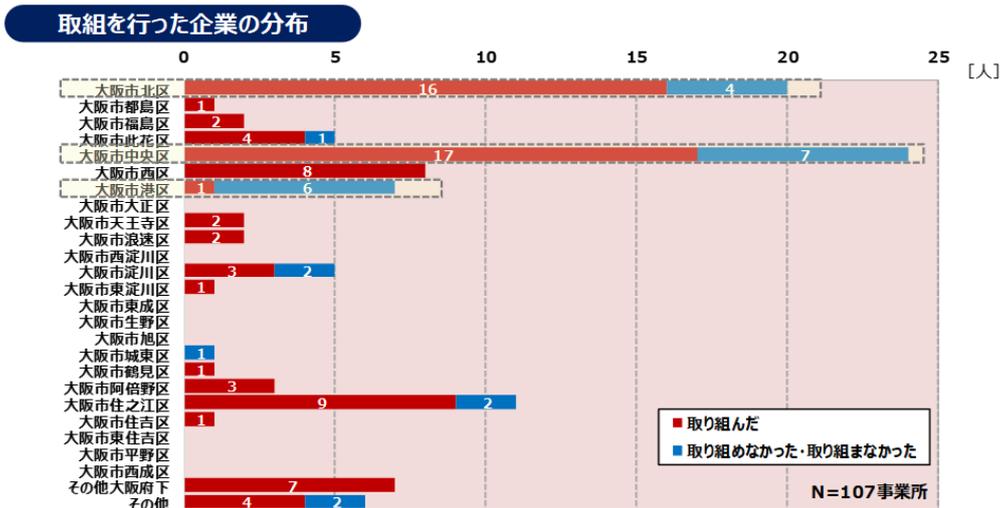
出典：第4回 交通円滑化推進会議資料

図 4.12 属性別 TDM アンケート実施対象数



b) 企業の取組状況(取組分布)

アンケートに回答頂いた万博 TDM パートナーのうち、取り組んだ事業所は大阪市北区(16事業所/20事業所)、中央区(17事業所/24事業所)が比較的多かった。一方で、Osaka Metro 中央線沿線の港区において、「取り組めなかった・取り組まなかった」事業所の割合が高い(6事業所/7事業所)ことが確認され、万博 TDM パートナーの中でも Osaka Metro 中央線沿線企業への働きかけの強化が必要であることが確認された。



出典:第4回 交通円滑化推進会議資料

図 4.13 TDM の取組を行った企業分布

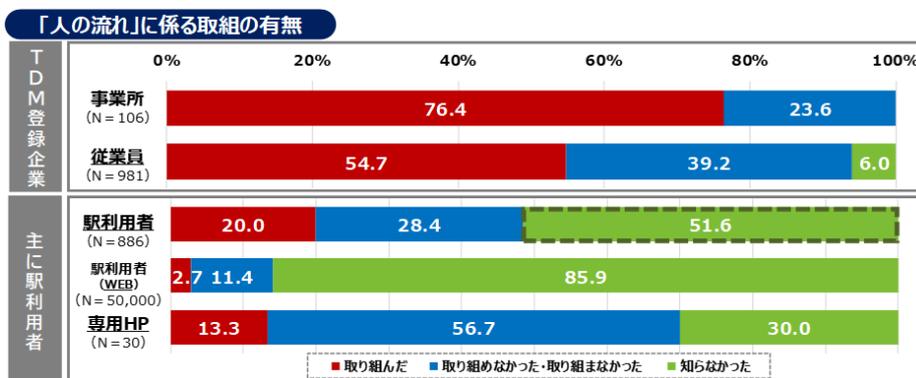
c) 取組状況(取組有無)

本アンケートにおいて、「人の流れ」に係る取組は、「TDM パートナー登録企業」の事業所で約 76% (81 事業所/106 事業所)、従業員で約 55% が実施したことが確認された。

一方、「主に駅利用者」は、Osaka Metro 中央線(朝潮橋駅→コスモスクエア駅)利用の方においても、「TDM を知らなかった」が約 52% を占めており、結果、「TDM パートナー登録企業」の方が「主に駅利用者」と比較して、取組割合及び認知度は明らかに高いことが確認された。

また、「物の流れ」に係る取組は、「TDM パートナー登録企業」において、事業所で約 40% (10 事業所/25 事業所)、事業所の従業員は約 37% の実施に留まり、「物の流れ」に係る取組は、「人の流れ」に係る取組よりも少ない結果となった。

※「人の流れ」:在宅勤務、時差出勤、計画的な休暇取得 等 「物の流れ」:共同配送、納品時間・時期の調整 等



出典:第4回 交通円滑化推進会議資料

図 4.14 属性別「人の流れ」に係る取組の有無

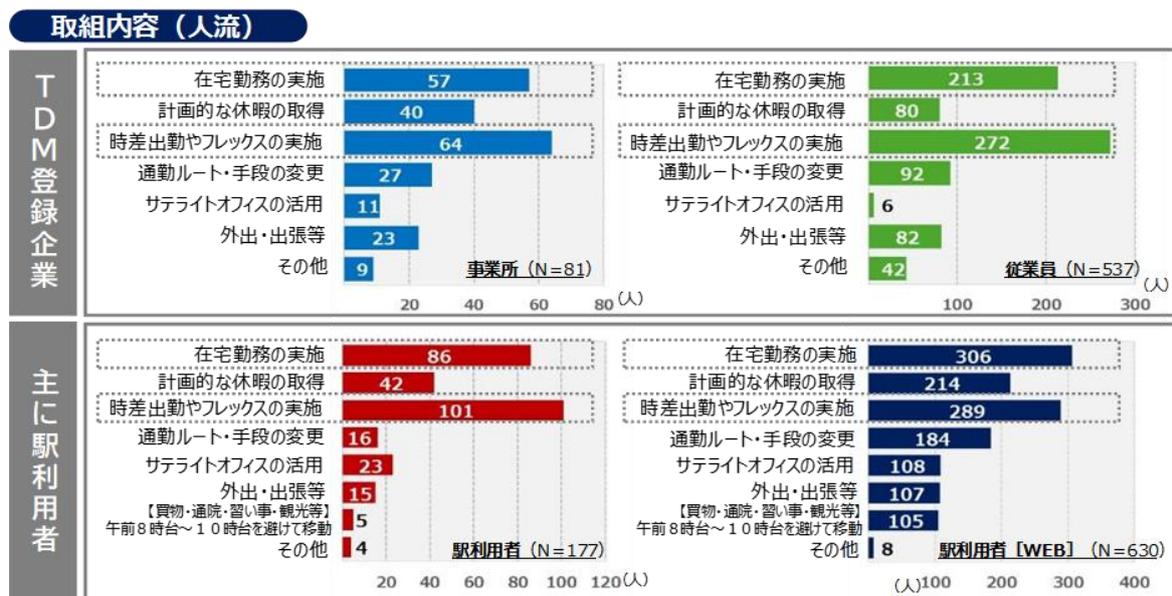
第4章 万博 TDM トライアル



d) 取組状況(取組内容)

取組内容は、「TDM パートナー登録企業」「主に駅利用者」とともに、「在宅勤務の実施」「時差出勤やフレックスの実施」の件数が上位となった。

取り組んだ方からは、「万博 TDM やその必要性を知る機会となった」「万博 TDM を契機に在宅勤務や時差出勤に取り組む社員がいた」等の声が寄せられた。

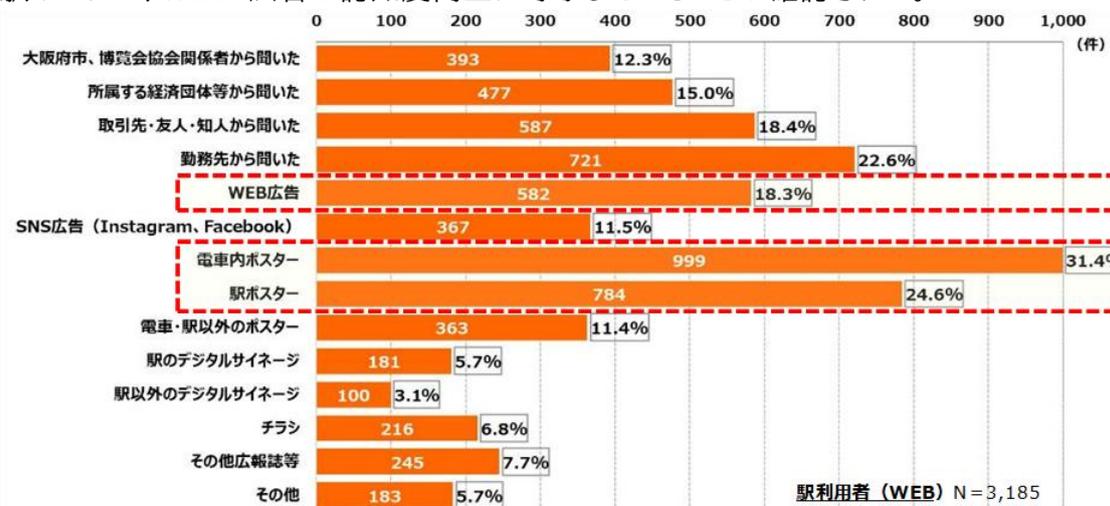


出典: 第4回 交通円滑化推進会議資料

図 4.15 属性別TDM取組内容

e) 「主に駅利用者」の認知手段

駅利用者の万博 TDM の認知手段は、回答者約3,200 人の内、「鉄道車両広告(電車内・駅ポスター)」がそれぞれ約 31%と約 25%、「WEB 広告」が約 18%となり、トライアルに向けて実施した電車内・駅ポスター、WEB 広告が認知度向上に寄与していることが確認された。



出典: 第4回 交通円滑化推進会議資料

図 4.16 万博TDMの認知手段

f) 企業の取組事例

積極的に万博 TDM に取り組んでいただいた企業(ミズノ(株)、(株)LIXIL、京セラドキュメントソリューションズ(株))の取組事例を交通円滑化推進会議(第4回)で紹介した。

g) 万博開幕に向けた課題・改善点

万博 TDM パートナー等の取組結果により得られた主な意見について図 4.17 のとおり記す。

「人の流れ」、あるいは「物の流れ」に係る取組に対して、「そもそも万博期間中に公共交通機関が混雑するという認識がまだ薄い」「関係者に対し、取組への理解を深める必要がある」といった意見が寄せられた。

また、駅利用者の方からは、「万博のような半年間の長期間では続けることは難しい」といった意見も寄せられた。万博会期中において、万博TDMを呼びかけているのは6月、8月お盆明けから会期終盤までの期間であり、トライアル以降の広報の中で、こうした誤解も解消できるよう、対象や期間、取組内容等をわかりやすく発信していくことの重要性を改めて認識した。

人の流れ（主要な意見）

【TDM登録企業】

- 万博期間中は各公共交通機関が大混雑するという認識がまだ薄い。
- 取組むための準備期間が足りなかった。
- 関係者・取引先等との調整が必要。また、社員や取引先に対し、取組への理解を深める必要がある。
- 会社の枠を超えて地域全体での取組みPRがより重要である。

【主に駅利用者】

- トライアルは可能でも、半年間は続けられる見込みがない。
- 時間をコントロールできるよう、会社全体での取組に向けた調整が必要。
- 通信面等のIT環境や勤務環境が整っておらず、在宅勤務が困難であった。

物の流れ（主要な意見）

【TDM登録企業】

- 万博期間中の交通混雑状況が見えず、TDMの必要性を感じなかった。
- 取組むための準備期間が足りなかった。
- 万博期間中は取引先との入念な事前協議・調整が必要

出典：第4回 交通円滑化推進会議資料

図 4.17 アンケートにより得られた主な意見



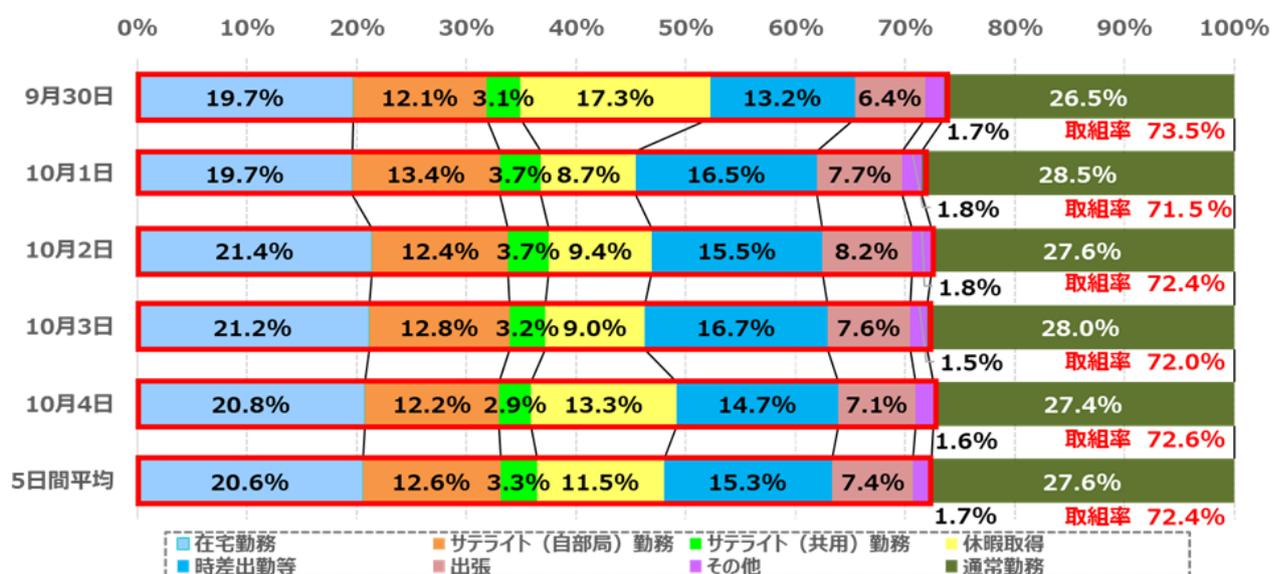
(3) 大阪府・市、博覧会協会による取組結果

a) 大阪府・市

大阪府・市の咲洲庁舎・ATC庁舎部局の職員約3,700人においては、トライアル期間、午前中の8時台から10時台の混雑時間帯の通勤の7割削減を目標として取組を実施し、7割以上(5日間平均で72.4%)の通勤削減を達成した。

取組内容は、「在宅勤務」「時差出勤」「自部局のサテライト勤務」が多い傾向となった。

取り組んだ職員からは、「サテライトオフィスにおける電話機の不足」といった執務環境に関する意見や、「在宅勤務制度の回数特例の継続実施」等の勤務制度に関する意見が寄せられ、万博会期本番に向け、これら課題への対応を進めていくこととした。



出典: 第4回 交通円滑化推進会議資料

図 4.18 大阪府・市職員トライアル結果

第4章 万博 TDM トライアル

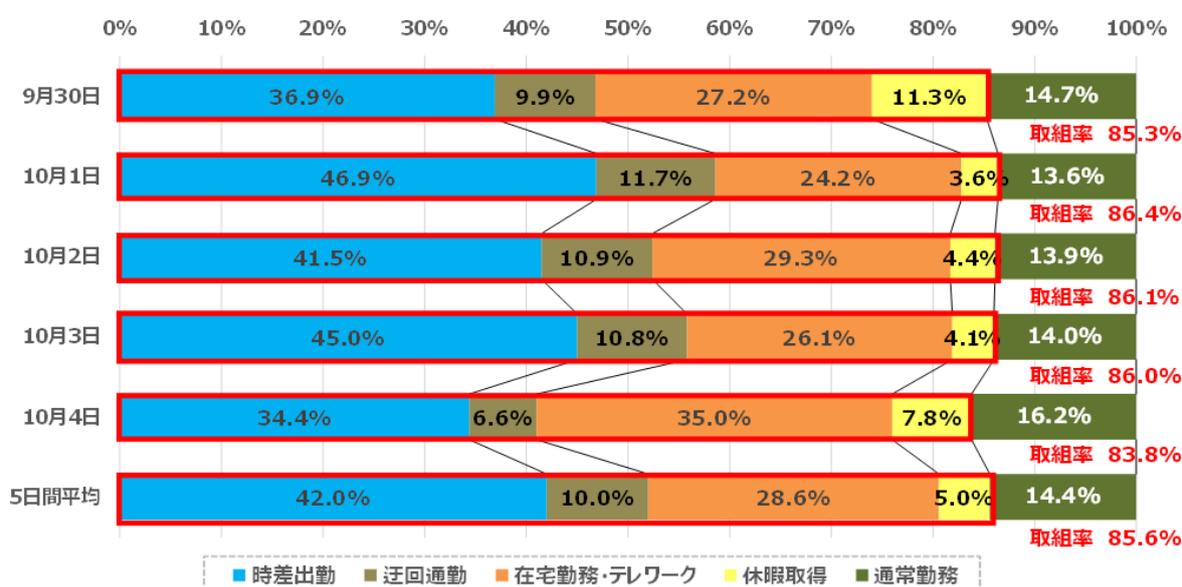


b) 博覧会協会

博覧会協会において、大阪府・市職員と同様、午前中の8時台から10時台の混雑時間帯の通勤の7割削減を目標として取組を実施し、約800人の職員のうち、85.6%が万博 TDM に取り組んだ。取組内容は、「時差出勤」が最も多く、以下「在宅勤務・テレワーク」「迂回通勤」「休暇取得」と続いた。

取り組んだ職員からは、「早く出勤しても、取引先が通常勤務のため夕方に会議が設定され、勤務時間が伸びた」「職員の間で勤務時間が違うので、会議等の開催時間の調整が困難であった」等の意見が寄せられた。

これらの意見を踏まえ、時差出勤を実施する場合は、取引先にも周知し理解を求め、会議時間を早める、あるいは、職員の負担を減らすために、可能な限り部局内で出勤時間を揃える等、職場を挙げてサポートしていくといった課題への対応について検討することとした。



出典: 第4回 交通円滑化推進会議資料

図 4.19 博覧会協会職員 トライアル結果

c) 大阪市域の国機関

2024(令和6)年8月16日付けで、交通円滑化推進会議会長から国際博覧会担当大臣あて、万博 TDM への協力依頼を行い、大阪市域の国機関においても、3割を超える職員が通勤削減の取組を実施した。

(4) トライアル検証結果を踏まえた対策

a) 企業等に対する取組

トライアルの検証結果から万博 TDM の取組が Osaka Metro 中央線の交通量低減に一定の効果があることが確認された一方で、Osaka Metro 中央線沿線企業をはじめとする各企業の更なる協力が必要であること、また、日・週による交通量変動や沿線主要集客施設等の利用状況が Osaka Metro 中央線の混雑率に影響することが明らかになった。

このため、Osaka Metro 中央線における混雑率120%以下の達成に向け、追加対策として以下の2点を実施した。

1点目は、鉄道、道路に共通する「万博 TDM パートナー登録促進」に向けた取組として、万博 TDM の必要性を理解し、その上で必要な行動変容につなげてもらうため、万博 TDM パートナーに登録し、万博に関する正しい交通状況を認識していただく必要があるということである。そのために、登録促進のためのインセンティブの付与(第5章参照)や広報の強化、Osaka Metro 中央線沿線企業への個別訪問による協力要請や説明会に一層注力した。

2点目は、「沿線主要集客施設等との調整」である。今回の分析で明らかになった混雑率等への影響があるイベント施設や教育機関に対して、混雑時間帯の回避に寄与する何らかの取組の協力ができないか、改めて調整、連携を図っていくこととした。

また、万博会場周辺の事業所を対象に、通勤、物資配送状況や、万博会期中の TDM 取組内容について把握するため、電話調査を行った。本調査内では、万博 TDM パートナー登録の認知についてもヒアリングを実施した。

その結果、万博 TDM パートナーの取組自体の認知が低いこと(約 8 割が万博 TDM パートナー登録制度について知らなかったと回答)や、万博 TDM パートナーへの登録意向について、「登録したい」「興味あり」「検討する」と回答した企業が非常に少ないことが判明した。

このことから、まずは万博 TDM の取組について認知拡大のためのポスターやチラシ作り及び登録促進のためのインセンティブの必要性を認識した。

調査手法: 電話調査

調査実施期間: 2024(令和6)年10月~11月

調査対象: 以下の抽出条件※より、1,540 件を選定し調査対象とした。

※抽出条件: 此花区・港区・住之江区の指定エリアに本社・事業所所在の企業
ただし、以下の条件を含む企業は対象外とした。

- ・電話番号の登録が無い企業
- ・帝国データバンクにて調査不可の企業
- ・帝国データバンクへ国家公務、地方公務で登録されている団体
- ・万博TDMパートナーに2024(令和6)年7月12日時点で登録済みの252社

回答件数・回答率: 709件(46.0%)



b)大阪府・市及び博覧会協会の取組

トライアルを踏まえ、万博会期中の大阪府・市職員の万博 TDM 取組方針についても改めて整理を行った。トライアルと同様に、Osaka Metro 中央線の混雑緩和に寄与する咲洲庁舎・ATC庁舎の大阪府・市職員、博覧会協会においては、表4.5のとおり、会期終盤の最混雑期は職員の7割が万博 TDM の取組を実施する方針とした。

加えて、最混雑期には大阪市中心部においても多くの人が行き交うことから、交通量の発生・集中が生じる大阪府庁や大阪市役所等の職員の3割が万博 TDM の取組を実施する方針とし、市役所の所属について、一部継続調整とした。

表 4.5 万博 TDM 取組目標(万博会期中の大阪府・大阪市及び博覧会協会)

取組目標		
対象職員	非常に混雑する期間 (R7.10.1~10.13)	混雑する期間 (R7.6.1~6.30、8.18~9.30)
大阪府市職員		
咲洲庁舎・ATC庁舎	7割	3割
大阪府庁・ 大阪市役所など※1	3割	可能な範囲
大阪府市職員（上記除く）	可能な範囲	可能な範囲
博覧会協会	7割	

※1 市役所の所属(副首都推進局、市政改革室、デジタル統括室、総務局、都市交通局、政策企画室、危機管理室、市民局、財政局、計画調整局、福祉局、健康局、こども青少年局、都市整備局、会計室、教育委員会事務局、行政委員会事務局、市会事務局)、契約管財局、環境局(あべのルシアス)、消防局

出典:第4回 交通円滑化推進会議資料

4. その他の関連取組

(1) Osaka Metro による万博 TDM 推進キャンペーン

Osaka Metro は、万博TDMの取組を推進するため、2024(令和6)年9月30日(月)から10月4日(金)の「万博TDMトライアル」の期間中、比較的混雑が少ない7時台から10時台(8時台は除く)、または16時台から20時台に、Osaka Metro 中央線の利用からニュートラムへの迂回利用にご協力いただいたお客さまを対象に e METROアプリを活用して、Osaka Pointをプレゼントするキャンペーンを実施した。

2024年12月23日
Osaka Metro

大阪・関西万博に向けた「万博TDM・推進キャンペーン」の実施について

Osaka Metroでは、2024年9月30日(月)から10月4日(金)の「万博TDMトライアル」にあわせて、TDMの取組みを推進するため、以下のOsaka Pointキャンペーンを実施した

1 概要
 「万博TDMトライアル」期間中、中央線のご利用から、比較的混雑が少ないニュートラムへの迂回かつ時差出勤にご協力をいただいたお客さまにe METROアプリを活用して、Osaka Pointをプレゼントした
 住之江公園駅とコスモスクエア駅～フェリーターミナル駅の各駅に「QRコード用紙」を設置し、迂回されるお客さまがe METROアプリで、7時台～10時台(8時台は除く)または16時台～20時台に、「住之江公園駅」と「コスモスクエア駅～フェリーターミナル駅のいずれか1駅」の計2箇所でQRコードを読み取っていただくことで片道30ポイント、往復60ポイントの付与を行った

<QRコード・ポイント取得のイメージ>

【出勤時】	【退勤時】
住之江公園駅でQR読み込み	NT対象駅でQR読み込み
+	+
NT対象駅でQR読み込み	住之江公園駅でQR読み込み
30pt付与	
60pt付与	

2 今後の取組
 万博TDM取組み期間である2025年6月・8月下旬～会期末(59日間)においても、同施策を実施する予定
 ※早い段階から広報活動を行い、より多くのお客さまにご協力いただくよう取組む

出典：第4回 交通円滑化推進会議資料

図 4.20 万博 TDM 推進キャンペーン

第5章 万博 TDM トライアル結果を踏まえた開幕に向けた取組

1. 万博 TDM パートナー登録促進に向けた取組

トライアルの取組結果から、万博 TDM の取組が、交通量低減に一定の効果があることを確認できた一方、Osaka Metro 中央線沿線をはじめとする各企業の更なる万博 TDM の取組への協力が必要であることが判明したため、万博 TDM パートナー登録促進に向け、経済団体等の意見を踏まえ、各種インセンティブを用意した。

また、開幕に向けて万博 TDM の取組の必要性について、企業や府民・市民等に理解いただくことが重要であることから、開幕の100日前からは、万博 TDM の認知・周知を目的に駅や車内ポスター等を活用した周知に加え、個別訪問や説明会の開催等による働きかけも実施した。

(1) 各種インセンティブ

万博 TDM パートナー登録促進のため、万博 TDM の協力企業として、企業の知名度・イメージ向上につながるインセンティブ a) から c)、また、万博に触れることのできるインセンティブとして d) から f) の、合計6つのインセンティブを用意した。

a) 万博 TDM パートナー登録ステッカー

万博 TDM パートナーに対して、1 事業所を登録いただくごとに 1 枚「万博TDMパートナー登録ステッカー」を作成し、2025(令和7)年1月から10月にかけて提供した。



図 5.1 万博 TDM パートナー登録ステッカー



b) 名刺用 TDM ロゴ

万博 TDM パートナーに対して、名刺で使用いただける TDM ロゴを作成し、2025年1月から10月の間に提供した。

ロゴのデザインは、混雑を回避しスムーズな移動をイメージする曲線に電車・車を組み合わせ、色調は、万博の青・赤・白を基調に、中央に「みんなで混雑緩和！」のメッセージを配置した。



図 5.2 名刺用 TDM ロゴ

c) 万博 TDM リーフレットへの企業名の掲載

2025年1月から、万博 TDM リーフレットに、万博 TDM パートナーの登録企業名の掲載を開始した。リーフレットについては、月に1回程度の頻度で更新を行い、ホームページ上でも公開した。

d) テストランへの招待

万博開幕前の 2025 年 4 月に、試験的に会場内に来場者を招き会場運営の試行を行うテストランに、約 5,000 名(1,000 事業所×5 名/事業所)程度を上限として、万博 TDM パートナーを招待した。

募集期間： 2025年2月13日～3月14日
実施日： 2025年4月6日

e) 万博 TDM 出前授業

万博 TDM の理解をより一層深めていただくため、万博 TDM パートナーの職場等に、大阪府・大阪市万博推進局の職員と万博公式キャラクターであるミャクミャクが訪問し、万博 TDM 等の PR を行う「万博 TDM 出前授業」(以下、出前授業という。)の募集を、万博 TDM パートナーを対象として実施した。

募集期間： 2025年2月13日～3月14日
実施期間： 2025年5月12日～9月30日のうち、5日間
内 容： ・大阪府・市職員による万博会期中の交通情報や
万博 TDM の取組等に関する出前授業
・万博 TDM パートナーとの TDM の取組状況に関する意見交換



f) 大阪ヘルスケアパビリオン催事専用スペースの活用

大阪府・市が万博会場内に出展する大阪ヘルスケアパビリオンの催事専用スペースで、催事を実施できる機会の募集を、万博 TDM パートナーを対象として実施した。

募集期間： 2025年2月13日～3月14日

実施期間： 2025年6月22日～7月22日のうち、7日間

内 容： ・万博 TDM の機運醸成に向けた万博 TDM パートナーによる
自社の取組の発表
・大阪ヘルスケアパビリオンの出展参加テーマである「REBORN」や、
大阪の活力・魅力を国内外に発信する「大阪のプレゼンス向上」を
基本方針とした催事の実施



(2) 企業等への働きかけ

混雑が予想される Osaka Metro 中央線沿線や万博会場周辺の企業等に対し、万博 TDM の取組に対する理解促進や、万博 TDM パートナーに登録いただくために積極的な働きかけを行った。

a) ポスター

インセンティブ募集の開始を広く周知するため、募集内容を掲載したポスターを制作し、Osaka Metro の車内中吊り広告で掲出した。



図 5.3 ポスター(インセンティブ用)

〈掲出場所〉

媒体	掲出場所	掲出期間
車内中吊りポスター ※1車両につき1枚掲出	Osaka Metro 御堂筋線(430枚) Osaka Metro 谷町線(300枚) Osaka Metro 四つ橋線(160枚) Osaka Metro 中央線(430枚) Osaka Metro 千日前線(80枚) Osaka Metro 堺筋線(190枚)	2025年2月24日 ～3月16日

b) ポスティングの実施

Osaka Metro 中央線の弁天町駅以西、万博会場周辺の此花区・港区・住之江区に所在する企業等、約 3,000 件に対し、説明会の開催案内等の資料を封入した上で、ポスティングを実施した。

〈配布資料〉 ・説明会の開催案内

- ・万博 TDM チラシ(開幕 100 日前)
- ・万博 TDM パートナー登録企業募集のチラシ
- ・万博 TDM リーフレット

c) 説明会の実施

万博会期中の交通状況や、各種インセンティブ等に関する説明会を実施した。現地説明会の参加が難しい企業等も参加できるよう、オンライン説明会も併せて実施した。

現地説明会〈開催日時・開催場所〉

開催日時	開催場所
2025年2月13日(木) 18:30~19:30	此花区民一休ホール 第4会議室
2025年2月18日(火) 16:30~17:30	大阪府咲洲庁舎41階 共通会議室8
2025年2月20日(木) 15:00~16:00	港区民センター 第1集会室

オンライン説明会〈開催日時〉

開催日時	
2025年2月12日(水) 10:00~11:00	2025年2月14日(金) 16:00~17:00
2025年2月12日(水) 16:00~17:00	2025年2月17日(月) 11:00~12:00
2025年2月14日(金) 11:00~12:00	2025年2月17日(月) 17:00~18:00



写真 5.1 現地説明会(港区)の様子(2025年2月20日)

d) Osaka Metro 中央線沿線企業へのはがき(ダイレクトメール)の送付

万博 TDM パートナーに登録いただいていない Osaka Metro 中央線各駅(堺筋本町駅以西)周辺の中央区や西区、万博会場周辺の此花区や港区、住之江区に所在する企業等を対象に、万博 TDM パートナー登録を呼びかけるはがきを送付した。

発送日： 2025年3月6日 送付物： はがき(A4両面) 送付数： 27,127通
--

宛先

2025年大阪・関西万博会期中の交通混雑に備えるために

万博TDMパートナーにご登録をお願いします!

取組は1日でも1人でもOK!(登録による義務は発生しません)
ご登録頂くことが万博の成功につながります!

ご登録いただくインセンティブ(特典)へ応募いただけます!

1 万博TDMステッカーの配布

万博TDMパートナー企業の登録を会場前にお招待

2 名利用TDMロゴの提供

企業ロゴの登録

3 リーフレットへの企業名掲載

TDMリーフレットに、登録企業社名を掲載

4 テストランへの招待

万博TDMパートナー企業の登録を会場前にお招待

5 万博TDM出前授業

登録企業が企業名を登録し、出前授業に出席、スタンプラリーを登録(LPRを写真、(予定))

6 大阪ヘルスケアアビリティン専用スペースの活用

万博TDMパートナー企業の登録が優待実施できる機会を確保(LPRを写真、(予定))

インセンティブ(特典)④⑤⑥を募集中です! (応募には万博TDMパートナーの登録が必要です)

申込方法 各インセンティブ(特典)の詳細や申し込み方法等については、「万博TDM専用ホームページ」にてご覧ください。

申込締切 令和7年3月14日(金) ※締切後は、3月下旬に予定に通知いたします。

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議

「万博TDMパートナー」とは 万博期間中の円滑な万博来場者輸送と都市活動の両立をめざすため、一般交通の抑制や分散、平準化の取組にご協力いただく企業の皆様です。

いつ? 万博開催期間中の会場混雑予測 /

会場混雑	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
非常に混雑 約20万人/日以上							
混雑 約10万人/日以上							

会期末(9月-10月)は、**大変混雑します。**
10月だけでも、1日だけでも
お願いします!

何を? 万博開催期間中、特に下記の交通混雑回避にご協力をお願いします /

鉄道

平日朝8時台~10時台の
Osaka Metro中央線、御堂筋線

道路

平日午前中の阪神高速道路大阪線等や
湾岸舞洲出口、会場周辺の一般道路

移動量・配送量を削減

万博会場が混雑する期間に、会場周辺等で、移動量等を削減する取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和

- テレワーク
- 在宅勤務
- オンライン会議の活用
- イベント開催場所・時期の変更

オフピーク時期・時間帯へ変更

万博会場が混雑する期間や来場場のピーク時間帯を避けた取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和

- 時差出勤
- フレックスタイム
- 外出・打ち合わせの時間帯の変更
- 配送時間帯の変更

交通混雑を避けた場所・ルートへ変更

Osaka Metro中央線や阪神高速道路等の混雑区間を避け取組により、鉄道や道路での交通混雑を緩和

- 移動・通勤ルートの変更(混雑区間を迂回)
- 配送ルートの変更
- 影響の低いエリアにある倉庫の活用

お問い合わせ 万博 TDM パートナー登録制度 事務局 | 大阪府・大阪市万博推進局 登録調整部
MAIL: bangaku-seb01@bangakutdm.jp | TEL: 06-6690-7731
〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10ATCビル6Fの6階

ホームページ 万博 TDM 専用ホームページ | <https://www.osakabangakutdm.com/> | こちらからもご覧いただけます。

図 5.4 はがき(ダイレクトメール)

e)ティッシュ配布の実施

Osaka Metro 中央線(本町駅から大阪港駅間)の6 駅で朝と夕の通勤時間帯の駅利用者を対象に、インセンティブの募集内容等を記載したティッシュとチラシを配布した。

配布 駅: 本町駅、阿波座駅、九条駅、弁天町駅、朝潮橋駅、大阪港駅

実施 日: 2025年3月11日~14日

実施 時間: 7:30~10:30、16:30~19:30

配布 物: ティッシュ、チラシ

配布 数: 10,000個

2025年大阪・関西万博会期中の交通混雑に備えるために

万博TDMパートナー登録企業募集

インセンティブを
ご用意

①万博TDMステッカーの配布

②名利用TDMロゴの提供

▼登録のメリット

- 事前の備えにお役立ち プッシュ型で交通情報等が届きます
- 企業イメージが向上 取組がHPで公表されます
- SDGsの実現に貢献

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議
登録条件や登録方法などの詳細は「万博TDMパートナー」専用HPからご確認ください。

既登録および今後登録していただける企業、団体等

万博TDMパートナーのみなさまへのインセンティブの募集を開始します!!

- 1 テストランへのご招待
- 2 万博TDM出前授業
- 3 大阪ヘルスケアアビリティン専用スペースの活用

万博 TDM パートナー登録企業

対象 企業 団体

募集 期間 令和7年2月13日00~3月14日00
※締切後は、3月下旬(予定)に通知いたします。

申込 方法 詳細は「万博TDM専用ホームページ」にてご覧ください。 | 万博TDM専用ホームページ

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議

図 5.5 ティッシュ・チラシ



2. Osaka Metro 中央線沿線主要集客施設等への働きかけ

Osaka Metro 中央線沿線のイベント施設及び教育機関に対し、万博 TDM の取組への協力の働きかけを行い、万博会期中における実施可能な取組を検討いただいた。

(1) イベント施設

万博会期終盤の最混雑期に大規模なイベントが開催予定であったことから、万博 TDM への協力の働きかけを行った。その結果、万博会期を通して、イベント施設のホームページ等において、催事事業者や施設利用者に対し、ニュートラム利用による迂回を呼びかけていただくこととなった。

(2) 教育機関

通学等により朝の混雑時間帯(8 時台から 10 時台)に Osaka Metro 中央線の利用が多くなることから、万博 TDM への協力の依頼書と併せて、学内の共有用に混雑期間や実施してほしい取組等を取りまとめた資料を作成し、働きかけを行った。その結果、万博会期を通して、1 限目(9 時開始)の授業をオンライン授業にする取組を実施いただくこととなった。



3. 開幕 100 日前(令和7年1月)から開幕までにおける広報

開幕 100 日前から開幕までの期間は、改めて万博 TDM の周知・認知を促すことを目的に、企業や府民・市民等に対して広報を実施した。

鉄道及び道路等で効果的な掲載場所にポスターやチラシ等を掲出し、広く周知を実施した。



図 5.6 広報計画



(1) 広報物のデザインの趣旨

「万博 TDM って何？」をキャッチコピーとすることで聞きなれない TDM という言葉を浸透させ、いつ、どこで、取組を行って欲しいかを、図形や表を用いて端的に表現することで、分かりやすく訴求できるように制作した。

また、音声流れないデジタルサイネージ等の媒体には図 5. 7 に示す開幕 100 日前の広報用チラシの内容を分かりやすく展開するスライド式の動画を制作した。

図 5. 7 開幕 100 日前ポスター(上)・チラシ(下)

(2) 広報物の掲出場所(Osaka Metro 等)

Osaka Metro における駅構内や車内広告のほか、交通円滑化推進会議の幹事団体が所有するサイネージやチラシラック等を活用した効果的な周知・広報を実施した。

表 5.1 Osaka Metro での掲出場所

媒体	掲出場所	掲出期間
車内ドア横ポスター ※1車両につき1枚掲出	Osaka Metro 全線の全車両(1,440枚) ※ニュートラム線除く	2025年1月28日～2月10日 2025年3月25日～31日
車内中吊りポスター ※1車両につき1枚掲出	Osaka Metro 御堂筋線(430枚) Osaka Metro 谷町線(300枚) Osaka Metro 四つ橋線(160枚) Osaka Metro 中央線(430枚) Osaka Metro 千日前線(80枚) Osaka Metro 堺筋線(190枚)	2025年1月20日～2月23日 2025年3月17日～23日
車内モニター	Osaka Metro 御堂筋線 31編成 Osaka Metro 中央線 22～32編成	2025年1月6日～3月30日
駅構内ポスター	Osaka Metro 御堂筋線:新大阪駅(2枚)、 梅田駅(6枚)、心斎橋駅(2枚)、なんば駅(4枚) Osaka Metro 谷町線:東梅田駅(2枚)、天王寺駅(2枚) Osaka Metro 四つ橋線:西梅田駅(2枚)	2025年1月27日～2月16日 2025年3月10日～16日
駅構内 デジタルサイネージ	Osaka Metro 御堂筋線:新大阪駅(17面)、 梅田駅(23面)、淀屋橋駅(28面)、本町駅(13面)、 なんば駅(44面)、天王寺駅(51面)、なかもず駅(14面) Osaka Metro 谷町線:東梅田駅(28面)、 天満橋駅(12面)、 谷町四丁目駅(6面)・谷町九丁目駅(5面) Osaka Metro 四つ橋線:肥後橋駅(6面) Osaka Metro 堺筋線:北浜駅(5面)、日本橋駅(9面)	2025年1月27日～3月23日
改札内ポスター	Osaka Metro 本町駅(18枚)、梅田駅(42枚) ※階段やエスカレーター横に連続してポスターを掲出し、集中的に 広報を実施	2025年3月17日～30日



Osaka Metro 御堂筋線梅田駅



Osaka Metro 車内

写真 5.2 Osaka Metro 駅構内デジタルサイネージ(左)・車内ドア横ポスター(右)

(3) WEB 広告

トライアルに引き続き、万博 TDM パートナー登録促進と、企業や府民・市民等へ万博 TDM の取組への協力を促すため、WEB 上での働きかけを行った。トライアルの結果から、検索広告ではよりクリック率の高かった Google での配信割合を高めた。また、府民・市民等への認知拡大を強化するため、動画での訴求が可能な YouTube を新たに導入し、ニュースサイト等の広告においては、UNIVERSE Ads の名刺情報や位置情報等の新たなデータを活用した配信を実施することで万博 TDM パートナー登録促進の強化を図った。

表 5.2 WEB 広告一覧

媒体種類	媒体概要	掲出先	目的	配信対象	配信期間と実績
動画広告	ウェブサイトやアプリの広告枠に動画を掲出できる媒体	YouTube	・府民・市民等への啓発活動	・大阪府主要エリアの居住者 ・大阪市及び周辺市(池田市、東大阪市、堺市、吹田市、豊中市、枚方市)居住者	2025年1月27日 ～3月31日 ・表示回数:2,676,992回 ・クリック数:2,074回
検索広告	特定のキーワードを検索した際に、検索結果の画面内に表示できる媒体	Google 検索広告	・万博 TDM パートナー登録 ・万博 TDM の認知拡大	・大阪府の主要エリアで、万博・混雑対策等関連キーワードを自ら検索した層	2025年1月27日 ～3月31日 ・表示回数:47,607回 ・クリック数:2,706回
		Yahoo! 検索広告			2025年1月27日 ～3月31日 ・表示回数:287,692回 ・クリック数:11,014回
ディスプレイ 広告	ウェブサイトやアプリ等の広告枠に画像とテキストを掲出できる媒体	Facebook Instagram	・万博 TDM パートナー登録	・Meta 上で会社員として登録されている層 ・梅田やなんば等の主要なビジネス街で働く層	2025年1月27日 ～3月21日 ・表示回数:173,461回 ・クリック数:2,583回
		ニュースサイト 等の広告面*		・オフィス内の PC でニュースサイト等を閲覧する従業員 ・企業の代表、役員クラスの役職者層 ・Osaka Metro 御堂筋線、中央線を利用している従業員	2025年1月27日 ～3月31日 ・表示回数:2,287,502回 ・クリック数:76,295回

*マイクロアド社の広告配信サービスである UNIVERSE Ads を活用



Google 検索広告、
Yahoo! 検索広告

ニュースサイト等の広告面

Facebook、Instagram
※一般投稿された画像や
動画の合間等に掲載

YouTube
※動画の再生前後や
再生途中で掲載

図 5.8 WEB 広告掲載イメージ



(4) YouTube 動画

「TDM」という用語を、動画ならではの音響効果や頭文字を活用した語呂合わせのリズムに乗せて印象付けつつ、「Osaka Metro 中央線の混雑率約 2 倍」や「高速道路の渋滞延伸」といった具体的な予測数値を提示し、直感的に理解できるようにすることで危機感を醸成させ、テレワークや移動・通勤ルートの変更等の具体的な混雑回避行動への協力を促す構成とした。



図 5.9 YouTube 動画



(5) 万博 TDM 専用ホームページ

トライアル期に制作したトライアル専用ホームページを「万博 TDM 専用ホームページ」としてリニューアルした。トライアルの結果や、万博 TDM パートナーの取組事例、説明会の告知やインセンティブの紹介等を掲載するとともに、新着情報についても適宜更新する等、常に最新情報を発信した。

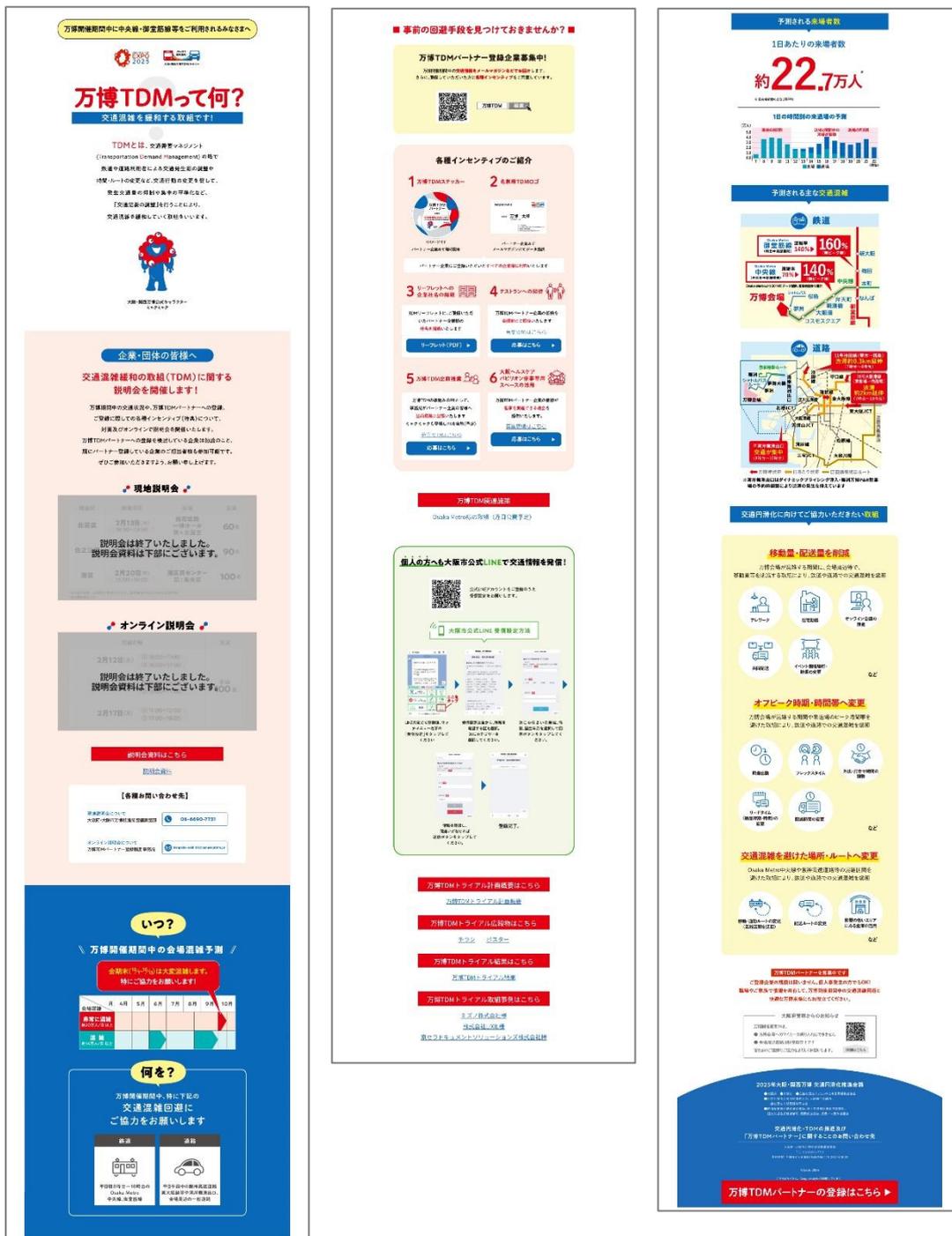


図 5.10 万博 TDM 専用ホームページ(2025年2月時点)



(6) 広報誌掲載

大阪府政だより(1・2月合併号)及び大阪市の広報誌(区広報誌2月号の全市情報部分)や、交通円滑化推進会議の幹事団体の広報誌へ掲載し、交通混雑緩和の協力を呼びかけた。



図 5.11 大阪市の広報誌(区広報誌2月号の全市情報部分)

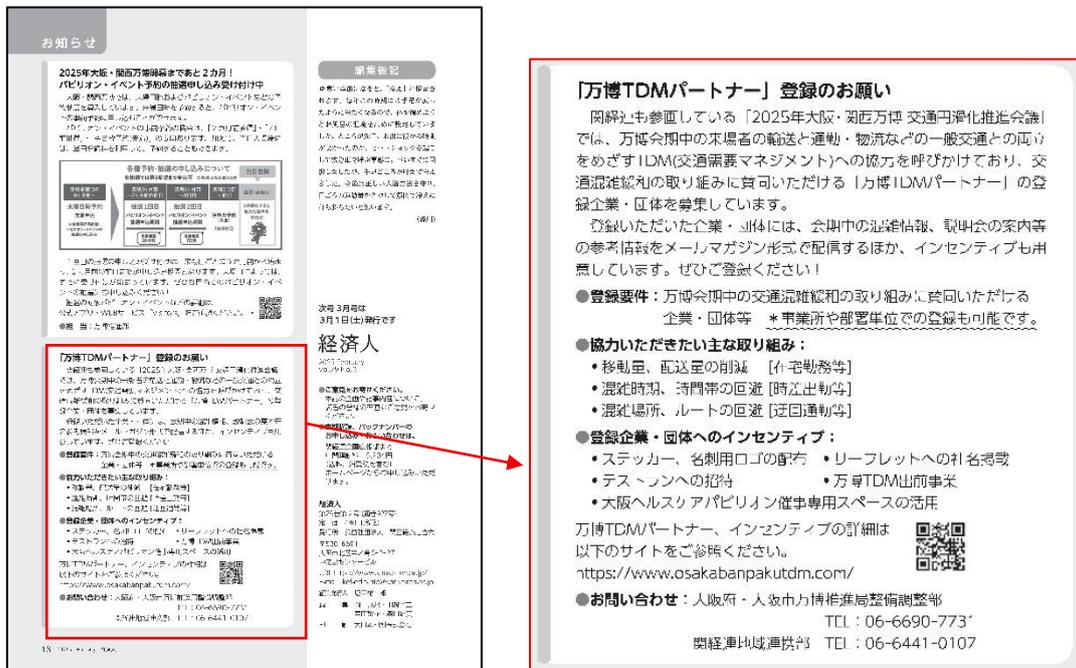


図 5.12 関西経済連合会広報誌掲載誌面



4. 万博 TDM パートナー等への働きかけ

万博 TDM パートナーを対象に、万博会期中に想定される交通混雑情報等、万博 TDM への理解を深めていただくための情報等について配信を行った。また、府民・市民等の個人を対象に大阪市公式 LINE のアカウントの活用による発信も行った。

表 5.3 メールマガジン配信内容 (Vol.1~15)

Vol.	配信日	配信内容
1	2024年3月27日	①大阪・関西万博の概要 ②大阪・関西万博における来場者輸送 ③TDM(交通需要マネジメント)とは
2	2024年4月25日	①万博時に想定される主な混雑区間【鉄道編】 ②先導的取組(1) ③大阪・関西万博 関連 news
3	2024年5月28日	①万博時に想定される主な混雑区間【道路編】 ②先導的取組(2) ③オンライン説明会の開催 (万博期間中の交通状況・万博TDMパートナー) ④大阪・関西万博 関連 news
4	2024年6月12日	①万博会期中における会場の混雑予測 ②TDM の試行について【2024年9月末~10月上旬】 ③先導的取組(3)
5	2024年6月28日	①TDM 試行実施の期間について【2024年9月30日~10月4日】 ②現地説明会の開催について(此花区・港区・住之江区) ③TDM の取組概要資料の作成をお願いします!
6	2024年7月29日	①(仮称)夢洲北高架橋の工事完成の前倒しについて(交通アクセス改善の取組) ②湾岸舞洲出口の2車線化について ③来場者輸送対策の紹介~大型荷物持ち込み対策検討会~ ④万博TDMパートナー登録証の掲載について
7	2024年8月21日	①万博TDMトライアル実施について ②チラシ・リーフレットのリニューアルについて
8	2024年8月27日	①2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議(第3回)を開催しました ②万博 TDM トライアル計画を公表しました
9	2024年9月6日	①万博 TDM トライアルの広報を展開します ②大阪・関西万博の来場日時予約方法を解説した「予約・抽選ガイド」を公開 ③大阪・関西万博イベントページを開設
10	2024年9月12日	①万博 TDM トライアル時の大阪府・市及び博覧会協会における取組 ②Osaka Metro 中央線の新駅「夢洲駅」の開業日について ③令和6年9月17日(火曜日)から万博来場サポートデスクを設置します
11	2024年9月20日	①万博 TDM トライアル終了後にアンケートを実施します! ②TDM トライアル期間中における Osaka Metro の取組 ③TDM トライアル期間中における企業の取組
12	2024年9月27日	①万博 TDM トライアル終了後のアンケートへのご協力をお願い ②万博 TDM パートナーのお問い合わせ窓口について ③超早割一日券の販売は10月6日まで
13	2024年10月2日	①TDM パートナー登録申し込みフォームの新設について ②【再掲】万博 TDM トライアル終了後のアンケートへのご協力をお願い ③万博 TDM トライアルにおける報道状況について
14	2024年10月7日	①アンケートのご協力をお願い(事業所向け) ②アンケートのご協力をお願い(従業員向け) ③メールマガジン発信元アドレスの変更
15	2024年10月17日	①【リマインド】アンケートのご協力をお願い(事業所向け) ②【リマインド】アンケートのご協力をお願い(従業員向け) ③「リボンチャレンジ」出展企業一覧の更新



表 5.4 メールマガジン配信内容 (Vol.16～25)

Vol.	配信日	配信内容
16	2024年10月24日	①【リマインド】アンケートのご協力をお願い(事業所向け) ②【リマインド】アンケートのご協力をお願い(従業員向け)
17	2024年11月11日	①万博 TDM パートナー取組発表資料 ②「参考事例」株式会社日立製作所 ③EXPO2025 交通インフォメーションについて
18	2024年11月25日	①「万博 TDM」トライアル参加証を順次送付について ②万博 TDM パートナー登録情報確認のお願い ③Osaka Metro「e METRO アプリ」による混雑状況見える化の取組 ④大阪市役所前のミヤクミヤクが冬の装い
19	2024年12月16日	①大阪・関西万博来場者輸送具体方針(アクションプラン)第5版を策定 ②阪神高速道路(大阪地区)の渋滞予測カレンダー ③2025年大阪・関西万博推進本部第12回会議
20	2024年12月26日	①交通円滑化推進会議(第4回)開催 ②TDM パートナー企業登録促進に向けた取組
21	2025年1月15日	①【TDM トライアル時の取組事例紹介(1)】ミズノ株式会社様 ②【TDM トライアル時の取組事例紹介(2)】株式会社 LIXIL 様 ③【TDM トライアル時の取組事例紹介(3)】京セラドキュメントソリューションズ株式会社様
22	2025年1月27日	①ステッカーの発送について ②TDM に関する説明会のご案内 ③「万博 TDM・促進キャンペーン」の実施について(Osaka Metro の取組)
23	2025年2月13日	万博 TDM パートナー登録のインセンティブについて ①テストランへの招待について ②万博 TDM の出前授業について ③大阪ヘルスケアパビリオン催事専用スペースの活用について
24	2025年2月28日	万博 TDM パートナー登録のインセンティブ(特典)を絶賛募集中! ①各種インセンティブ(特典)の実施概要について ②現地説明会の説明資料をホームページに公開中! ③淀川左岸線(2期)サイクル&ウォークイベント開催!
25	2025年3月10日	①【締切間近】各種インセンティブのお申し込みについて ②万博会場周辺の交通規制に関するお知らせ ③リーフレット3月号の更新について



5. 大阪府・市各部局への働きかけ

(1) 各部局へ万博 TDM の取組について依頼文の発出

大阪府・市各部局に実施したヒアリング及びアンケート調査結果(第3章4節及び第4章3節(3)参照)等を踏まえ、2025(令和7)年3月31日付けで大阪府・大阪市万博推進局から大阪府・市各部局に万博会期中の万博 TDM 取組方針の周知、及び取組への協力を依頼した。

取組対象期間： 混雑する期間(2025年6月1日～6月30日、8月18日～9月30日)
非常に混雑する期間(2025年10月1日～10月13日)

取組対象及び取組目標：

対象職員	取組方針	取組目標	
		非常に混雑する期間	混雑する期間
咲洲庁舎・ATC庁舎	Osaka Metro中央線の混雑緩和に寄与	7割	3割
大阪府庁・ 大阪市役所等※1	Osaka Metro中央線、御堂筋線の混雑緩和 及び大阪市内中心部の交通総量削減に寄与	3割	可能な範囲
大阪府市職員 (上記除く)	Osaka Metro中央線、御堂筋線の混雑緩和 及び大阪府内全域の交通総量削減に寄与	可能な範囲	可能な範囲

※1 市役所の所属(副首都推進局、市政改革室、デジタル統括室、総務局、都市交通局、政策企画室、危機管理室、市民局、財政局、計画調整局、福祉局、健康局、子ども青少年局、都市整備局、会計室、教育委員会事務局、行政委員会事務局、市会事務局)、契約管財局、環境局(あべのルシアス)、消防局、港区役所

※特に取組が必要な路線、区間、方向

路線	区間	方向
Osaka Metro 中央線	本町駅～コスモスクエア駅間	夢洲方面(本町駅→コスモスクエア駅)
Osaka Metro 御堂筋線	梅田駅～本町駅間	天王寺方面(梅田駅→本町駅)

取組概要： 平日朝ピーク時間(8時台～10時台)の混雑緩和に寄与する取組として、
テレワーク、休暇取得、時差勤務・フレックスタイム制等
※上記のほか、取組結果の効果検証を実施予定であることや主な取組事例を共有した。

(2) 共用サテライトオフィスの確保及び執務環境整備

咲洲庁舎・ATC 庁舎部局の職員による、追加のサテライトオフィス(以下、「共用サテライトオフィス」という。)として、関係先の協力を得て大阪府庁や大阪市役所の共通会議室、議会委員会室等を確保した。また、共用サテライトオフィス勤務に際しては、2025(令和7)年6月1日より業務用携帯電話及びプリンタを配備することで執務環境を整備した。



(3) 職員健康診断時期の調整(大阪府・市)

万博会期中の万博TDM取組期間(2025(令和7)年6月1日から6月30日、8月18日から10月13日)は、例年、職員の健康診断を実施する時期であったため、万博TDM取組期間外で実施するよう関係部局と調整を行った。

その結果、令和7年度において、大阪府は万博 TDM 取組期間を除く期間、大阪市の ATC 庁舎は万博閉幕後(10月下旬以降)に実施することとなった。